京城日報

二十三日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

第三十七回帝國議會

朝鮮總督府豫算問答

廿二日の衆議院豫算第二分科會

衆議院豫算第二分科會は二十二日午前十一時開會、朝鮮總督府の質問に入り齋藤珪次氏(政友)と荒井度支部長官との間に教育制度及び外人經營の宗教學校に關する問答あり小林勝民氏(同志)官吏任用方針に就き質問し

△荒井長官 日鮮人間に區別を設けず一樣に採用する方針なり又た朝鮮人の辯護士は嘗て司法官又は辯護士たるものにて民事に就ては原被兩造を辯護せしめ刑事に就ては被告のみに限れりと答へ

△棚瀬軍之佐氏(同志)の質問に對し荒井長官工業財團法を起草中なり尚ほ戸籍に就ては朝鮮には民籍あり今日の處にては結婚入籍等の如き二重籍を有する者あり之れが改正に就ては調査中なりと答へ

△山本悌次郎氏(政友)の質問に對し産業就中農産物の如き逐年好成績を擧げ併合前平均一反歩三圓三十二錢の收入は目下七圓七十五錢を計上し居れりと答へ大島玖瑚治氏(政友)棉の栽培に關し小池仁郎氏(同志)は教育狀態に關し簡單なる質問をなし之れにて朝鮮總督府の質問を終れり

▼追加豫算總會

追加豫算に關する豫算總會は二十四日午前九時二十五分開會

△武富藏相 今回提出したる大正四年度及び五年度の追加豫算は臨時事件費の追加並びに在外正貨增加内地金融の緩漫を機會とし外債償還の爲め内債を募集すべく之れが計畫を立てたるものなりとて其の内容を説明し次いで陽經理局長より陸軍所管臨時事件費の内容に就き説明あり

△三土忠造氏(政友) 今回の追加豫算は其の額一億の巨額なるのみならず政府從來の公債政策を根本的に破壞するが如き重大問題包含され居れり然るに之れを今日提出したるは其の當を得ず元來臨時事件費の如きは性質上開會の劈頭に提出すべきものなりとて國債償還に關する政府政策の誤れるを難ずるや

△武富藏相 臨時事件費に就ては其の金額を決定するに調査上時日を要したるにより提出を延期せりと辯じ國債償還に就ては外債償還の爲内債を募集するものにして全く公債の借替にすぎず即ち外債を内債に移したるのみにて國庫には何等增減なしと答へ更に内債募集は政策の變更にあらざる所以を陳じ

△高木益太郎氏(國民) 三土氏同樣政府の失當を攻め審査延期の動議を出し片岡委員長追加豫算中には大正四年度分も含み其の決定を必要とせるものあれば暫時休憩の上各派の理事間に協議を遂げたしとて一旦休憩十一時五分再會片岡委員長本案熟議の爲め開期を延期し二十三日午後本會議の都合を計り開議すべしと宣し散會せり(東京特電)

歐洲大戰亂

▲勃ヴァルナ港外の砲聲

陸兵は日本の大砲を以て武裝す

雅典來電に曰く陸兵を滿載したる十六隻の露國輸送船勃國ヴァルナ沖に現はれ援護射擊のため巡洋艦二隻と驅逐艦二隻は目下猛烈にヴァルナ港を砲擊しつゝあり即ち豫ねて傳されし露國の勃國進擊愈々開始されしものにして其の陸兵はオデッサ港より出發せるものゝ如し又た陸兵中の砲兵隊は日本より供給せる大砲を以て武裝され居れり(紐育特電)

記者曰く 露軍の砲擊したるヴァルナ港は勃牙利の東部黑海沿岸にありて此方面に於ける勃國唯一の大港灣にして且つ大都たり千八百二十八年の古戰場たり

▲露軍勃國侵入

クロニクル雅典通信員所報に據れば露國遠征軍ヴァルナに上陸せり之より先き露國艦隊は同所を砲擊し之れを破壞せり敵の守備隊は大損害を蒙りたり露軍は上陸に際し一兵だに損ぜずと(倫敦電報)

▲露北軍督解職

露都來電に曰く露國北軍總司令官ルスキー大將は病氣の故を以て職を解かれたり(倫敦電報)

◎吉林國議覆選

吉林にては二十一日吉林省國民會議員複選擧を開票せしが九名の定員なるも七名缺員せる爲め二十二日再選の結果買明遠四十六票選長增四十六票成多祿四十四票齋忠甲三十八票馮詠行三十五票楊振州三十三票を得たり投票は三十以下採用なし因に先月各縣にて第一級選擧をなし總當選者三百九十七名ありたるが此の内より覆選せしものなり(長春特電)

◎元山守備新兵

元山守備隊に入隊す可き新兵二百十名は二十二日入港の加賀丸にて來着官民多數の出迎を受け笠原中尉引率の下に守備兵營に入りたり(元山特電)

◎總督桃山參陵

廿二日入洛せし寺内總督は廿三日伏見桃山御陵を參拜せり(京都特電)

雜報

◎支那帝政彙報

▼新帝即位地點 新皇帝登極地點は已に承運殿(前の太和殿)に定まりたる由なるも登極日に頒詔さるべき地點は未定なりし所今回天安門樓に指定せられ朱内務總長は各々其布設に從事中なりと

▼即位後の聖旨 新皇帝登極後頒せらるべき聖旨は大典籌備處より策令は上諭に批令は硃批に申令は硃諭に告令は勅令に各改むべき旨提議せりと

▼皇室費の計上 皇室費として三百七十九萬元計上せられ其内譯を左の如く定めらる

宮内經費	一、一五〇、〇〇〇元
皇族年俸	七二〇、〇〇〇
同公費	九六〇、〇〇〇
同交際費	九六〇、〇〇〇

▼國民會議召集 外間頻りに國民會議は明年一月一日を以て召集せらるべしと傳ふるに就て政界某要人は之れを否認し國民會議は憲法を議定する法定機關なるを以て憲法草案定の日は即ち國民會議召集の期たるべきことは言を待たず帝國憲法案起草に關しては大總統既に參政院に向け起草員並行推擧すべき旨命ぜしを以て此の推擧發表及び脱稿期は早くも二箇月を要す從つて國民會議の召集亦二月末頃になるべしと語れり(北京)

◎吉林穀物增稅

吉林省一帶に於ては今回大豆及び小麥の稅金を引上げ大豆一石に付小洋二十九錢小麥同四十八錢を徵收する事となし十二月十五日より實施しつゝあるが露西亞及び日本の附屬地方に出すものに對しては其の周圍に五箇所の稅關出張所を設け嚴重なる監督の下に徵收し居れり今回の增稅に對しては以前より約十倍の增徵なりと(吉林)

◎吉林省防穀令

吉林省一帶の農作物收穫は約六分位にて食糧缺乏の虞あり加へて諸物價騰貴しつゝあり爲に支那官憲に於ても救濟の方法を講ぜんとし先づ第一步として高粱粟の二種類の輸出禁止をなすべく日本商人に對して現物を所有し又は買占契約をなし居る者は來年一月二十日迄の間に全部の輸出を許可し其後は全く輸出を差止むる旨公文を以て我領事館に通知來れりと(吉林)

▲饑民到る處に群る

吉林は年來農産物の不作に因り糧價騰貴し饑民到る處に群り巡按使王揖唐は曾て糧食輸出の禁止令を告示せしも貧民の困苦は依然として往來の如し小學校の學生の出校日に減じ甚だしきに至りては其の生女を賣りて資を得以て其日を僅すものあり壯年の男子は多く盜賊と化するの有樣なり當局者は救濟の法を設けんと欲すれども吉林の財政困難にして如何ともする能はずと(吉林)

◎獨帝病む

伯林來電に據れば獨帝は病氣の爲め西部戰線往訪を中止せりと(紐育電報)

◎鑛業令發布

朝鮮鑛業令は既記の如く二十四日の官報を以て發布のことゝなれり同令は六十四條より成り施行期は總督之を定む同令の要旨は明日の紙上より連載す可し

◎總督總監弔詞

男爵[illegible]氏の逝去に對し寺内總督山縣政務總監は藤波通譯官を代理とし二十三日午前十一時益善洞十八番地の同男爵邸を弔問せしめたり

◎京城郵便局收入好況

京城郵便局に於ける通信事業の最近狀況を聞くに大正四年度四月より九月に至る上半期の事業收入は合計三十四萬八千四百三十二圓にして前年同期間の三十三萬百六十七圓に比し一萬八千二百六十四圓の增收を見たりしが更に十一月以降共進會及び御大典の爲め引續き通信利用の繁多なる時期に際せるを以て漸次良好の成績を見るべく豫想したるに果して十月十一月の二箇月間に於ける事業收入は十四萬九千八百九十圓の多きに達せり而して之を前年度同期間に於ける收入額十二萬六千百十三圓に對比せば切手收入に於て一萬四千五百八十一圓雜收入に於て三千五百六十八圓電話收入に於て三千五百六十六圓電信收入に於て一千八百九十七圓合計二萬三千七百七十七圓本月迄通計四萬二千四十一圓の激增を見るに至り倍々好況を呈し之れに加ふるに昨今年賀狀輻輳の爲め增收の見込なれば前三年度間の不振の狀況に引替へ本年度は事業收入上洵に心強き限りなりと

◎趙重應子歸京

東上中なりし子爵趙重應氏は廿三日午前連絡船にて釜山著直に北行列車に投じたりとの電報あり同夜九時南大門驛著列車にて歸京す

人事消息

▲官田勇氏(總督府鑛務課事務官) 鑛務事務打合の爲め二十二日入京

▲木村雄次氏(鮮銀理事) 二十四日夜九時發列車にて赴任の途

南言北語

支那では責任内閣と云ふ頗る立派なものが出來るらしい其役割は首相が一人で副首相が二名其れから代行、内務、財政、陸海其他各大臣を合せて十一名▲其の十一名の大臣の下には各部に副大臣が二人づゝ附くと云ふ▲其處で頭數の總勘定締めて三十六大臣は世界無比だ但し之れは各部に副大臣二名づゝの勘定也▲鳥度見るとお寺の儀式見たいで先づ緋の法衣を著た和尚が坐ると左右づらりと坊さん達が居流れる▲役僧の外は唯だお經を讀んで居れば何時の間にやら儀式が濟むと同じ事で▲大分要事のないのも多いのだらうが三十六大臣副署なんて如何にも堂々として居る▲お寺の儀式イヤ其の堂々たる内閣會議の模樣を拜見したいものだね▲如何に責任内閣でも負はぬ責任なら幾何あつても知れたものサ▲併し一とつ氣に入つたのは授爵の方法だ此奴はたしかに好い決してお諂ひ申す譯ぢやないが王爵は世襲公侯伯子は五代以内男爵は一代限りとは大出來だが一時に澤山こしらへるから其の始末の手廻しかも知れぬが之れぢや餘り感心が出來ぬ▲歳暮の贈答品と爵位をごつちやにしては貰ふ者も餘り有り難くはあるまい▲有り難くないと云へば黎元洪も武義親王は有り難くないとブンと撥ね付けてサッサと郷里へ歸るらしい其れでこそ男だ▲最一とつ有り難くないらしいは馮國璋の參謀總長だ何うも例の十八番の手らしい▲馮君喜んで北京へ行かうものなら早速逮捕は間違のない處だ其れでなくても上海方面への送兵は南京に向つての示威らしい▲最一とつ袁總統の爲めに有り難くないのは廣西の獨立宣言だ而も廣西には陸榮廷が居る▲袁總統は陸榮廷の子を殺したから陸から見れば我子の仇と云ふ私怨もあるだから此奴は愈々以て有り難くない次第だ

一千萬小國民諸君の理想的雜誌新年號出づ

少年世界

新年號大附錄 大正少年双六(石版極彩色) 小波案

▼探偵小說 魔の居る森 江見水蔭
▼洋上冒險 萬金の錨 阿武天風
■お伽小說 西の鬼島…巖谷小波
▼冒險小說 怪峽の奇遇 黑田湖山
▼少年小說 龍太郎來る 高原○

□新年(繪ばなし少年物語)…宣峰、湖山、島助、洗馬、其他記者總出
・巨彈の活力 堀田中佐
・龍馬と龍雄 武田鶯塘
・辰の歷史 高橋淡水
・米國の少年 柿崎博士
▼私の少年時代 文部大臣 高田早苗
▼目出たい日本神話 藤野博士
特別附錄 僞龍王(お伽芝居) 巖谷小波

本號(特別增大)に限り 定價金十五錢 郵稅二錢

少女世界

新年號大附錄 少女お友だち双六(石版極彩色) 吉田秋光 村田米四 合作

▼正月の少女の遊技 醫學博士
▼天使の少女 沼田笠峰
■お伽少女 救ひの火…巖谷小波
▼小說秘密 謎の短冊 黑田湖山
▼少女對話 夢喰はう 巖谷小波

□三ッの手紙
・白馬黑馬(活動寫眞)
・かるたの取り方…
・高等女學校入學受驗の心得…市川教諭
□少女のお正月
▼めぐみの旅費 沼田笠峰
▼霜の降る夜に…池川
▼懸賞新問題

本號(特別增大)に限り 定價金十五錢 郵稅二錢

幼年世界

新年號大附錄 龍宮オミヤゲ双六(石版極彩色) 小波案 林風畫

■お伽 龍の迷兒…巖谷小波
▼教訓お伽 食指の旅 黑田湖山
▼冒險幼年 海底征服 武田櫻桃 新井弘城
▼歷史の話 一休和尚 さゝふれ
□龍の話 木村小舟
・ナポレオン(歷史談)…谷洗馬
・動物寶船…(ポンチ)
□石版極彩色の口繪 八頁
▼龍の落し子(お伽歌)…佐々木有風
▼辰の年
▼懸賞活動寫眞 山野濱里子
□珍らしい寫眞多數挿入

定價金十錢 郵稅一錢

幼年画報

新年號大附錄 遊び双六 ボウノオウチ(石版極彩色) 小波案 柳三畫

▼娯樂と教訓に最善の效果を期せる美しく晴れやかな多くの繪と
▼小波先生の面白くて爲めになるお噺を賑かに滿載す

定價金十錢 郵稅一錢

普通號定價
少年世界 定價金十錢 郵稅一錢半 前金郵稅共 六冊八十五錢 十二冊一圓六十四錢
少女世界 幼年世界 幼年畫報 定價各十錢 郵稅各一錢 前金郵稅共 六冊八十一錢 十二冊一圓五十六錢

賣捌 全國各地書肆
東京本町 博文館

誰が殊勳者になるか

青島戰の行賞＝將校の發表は最近

青島攻圍戰に參加した我が將卒その數十三萬、一人々々に就て功績を調査するのだから容易な事ではない御大典と同時に發表されるだらうなどといふ噂もあつたが到底もさうは行かず屢次

△開かれた調査會▽

でも歐洲戰亂が收つてからしようこといふ說が出た程で今の所發表期は確定はしてゐないが將校連の方丈は既に略終了してゐるから今一應審議した上內閣に申達し 陛下の御裁可を仰いで廿五六日の交發表する事となるかも知れない、士卒の方はどうしても來春になる事は免れない、さてこの論功行賞は甚麼風にされるものか素より秘密ではあるが佐官尉官は聯隊長若くは大隊長、旅團長等が審議し將官の方は師團長又は

△參謀本部で審議▽

する、更に兵卒の方は中隊將校が見た所を中隊長に報告しそれを中隊長聯隊長、旅團長、師團長と幾つも手を經て上申される、當局はそれを慎重に審議して、殊勳(甲乙)勳功(甲乙丙)勳勞(甲乙丙丁)功勞(甲乙丙)の四種十二階に區別しそして更に調査委員が論議する、といふ順序になつて居るらしい、參加十三萬といふが出征して實戰に携はつたのは六萬七千なにがしで殘り六萬餘りは內地勤務であるから、實賞の限りに非ず、といふ者も含まれてゐるのだそこで

△何んなのが殊勳▽

となるか、勳功になるかこれが甚だ難かしい、これを測定するのは、その時の戰ひの大小輕重による外はない、彼の中央堡壘へ眞先に吶喊してこれを占領した步兵第五十六聯隊第二大隊の荒井、中村兩中尉とその兵卒の如きは先づ殊勳者と見てよからうが、その全部をさう極める譯には行かない、その中から又選り分けて重きを重く賞するのだ、又イルチス砲臺を突破した堀內少將やその部下の第九中隊長沖大尉なども恐く殊勳者であらう、その他鐵條網破壞、塹壕奪取等をやつた

△謂はゆる決死的▽

行動の將卒も勿論殊勳者である、しかも青島戰には、斯うした決死行動が度々あるのだから、それを鑑別するのが至難に相違ない、それから內地勤務の方だが、これに行賞は些と變に思はれるけれど決してさうでない實際參謀本部などの仕事は實戰よりも難事なものがある、一週間位は不眠不休なのが幾度もあつた、日露戰役後參謀附の將校が相踵いで死んだのは

△戰爭中過度に腦▽

を使つた爲であるといはれてゐる程だ、更に砲兵工廠兵器廠などの活動も想像以外で、これ等にも深い注意を拂はれてゐるのだ

馬賊得勝臺驛を襲ふ

滿鐵未曾有の椿事＝大搜查開始

十八日午前三時半頃滿鐵鐵嶺驛の隣驛なる得勝臺驛に四名の馬賊手に手に支那式短銃及び支那刀を携へ來襲し先づ一名はホームに他の一名は驛入口に見張りを爲して手筈を整へ他の殘賊は突如として同驛事務室に闖入するや一賊は兇器を示して居合せたる支那人驛夫を威嚇して其場に縛し上げ他の一賊は驛長室に突入するや長坂驛長を捕へ兇器を擬して在金を提供すべく強請したり然るに平常氣丈なる同驛長は賊等の強請に應せざるより賊は驛長に向ひ同日驛附近なる大范河の李某並に萬某等が大豆買入れ資金として五百九十餘元を同驛に預け置きたるを知り居れば其有金を出せとていつかな肯んせず暴力を振て傍らの金庫を開き在中金五百九十元を強奪するや合圖と共に大范河方面に向ひ逃走したり賊の去るや同驛にては直ちに鐵嶺驛に急報し其筋よりは藤田警部補以下巡査五名守備隊よりは下士以下五名憲兵隊よりは下士以下十名同四時半特別列車に乘じて得勝臺に急行し即時附近の大搜索に著手したり馬賊が驛を襲ふが如きは未だ曾て耳にせざる椿事にして其大膽なる實に驚くべし(奉天)

松江結氷

本年は比較的溫暖なりしため松花江の結氷も例年に比し著しく遲延したるが昨今は全く氷結し車馬の往來自由となりたるより對岸各地の穀類は盛に輸送され哈爾賓附近の市場頗に殷盛を極め居れり(長春發)

お氣に召すこと一方ならず

藝者とおサケ

朝鮮銀行重役連が露西亞の佳客と千代本一席の歡會

二十二日午後朝鮮銀行に露貨留を邦貨に交換をしに來た露人があつた夫れは擬て遙々哈爾賓から新築方面に

■遠征狩獵に來て

ゐた露亞銀行副支配人ウエ、イサコヴッチ氏であつた、水越理事と何彼と話しの上頻りに朝鮮銀行の建築の壯大雄麗殊に構內の華麗な事を稱へて朝鮮銀行券の內では日本人の眼に一番不手際だと思はれる十圓券を一番上出來だと言つて鳥渡した

處に國民性の閃めきを見せる 折角の御入京を機とし晚餐を共にし度いとの理事からの申出に初め鳥渡遠慮してたが遂に快諾して其晚千代本で會ふ事になつたが一行五人の內一人は

■日本を知つてる

が、他は皆知らぬ人達許りだし二人は英語を語り一人は佛語をやるが餘の二人は露西亞語一點張り、其でも通譯を介して、日本料理と藝者のお氣に入る事一方ならず、座蒲團の上に窮屈さうな坐り樣をしながら先づ頻に箸の持ち具合の研究で一座が湧き立つ。不自由らしいのを見兼ねて洋刀と洋叉を當がふと、もう此方のものと許りに頻りに召し上がる。そこまではいゝが、吸物椀の中に洋刀こ洋叉を突込んで仲居に氣を揉ませたり、醬油なしの肉を頬張つた後から妻の山葵を飲み込んで眼を白黒させたり、よろしくあつた上で頻りにお酒を召す。ウオツカやブランに慣れた身には日本酒は很合も無かつたらうが

■昨年來の禁酒の

處に此上燗とて一行急に醉を發し、上々御機嫌で露西亞語の小唄が出る、障子を開ければ庭には未だ解け殘つた雪が風情を添てゐた事とて一行は莫斯科あたりを聯想でもしたものと見えて一層の御機嫌で、席に侍つた京城券番の政次、蝶、丸子、笑子、小沙、玉子、文子、智惠子、政千代、十九江とづらり並んだ大小の可愛いゝところを見ては一行中での日本通が『京都で見たゲイシヤよりは此席のゲイシヤの方が餘ッ程綺麗だ』こ『是元卿か懐つたい樣なお世辭綿妙に見てゐた藝者の手踊が濟むと、一人立ち二人立ち終には五人共

■一齊に席を立て

足並怪しく總踊りの態、これには主人側もすつかり悦に入つて了つてゐると、お客様の方では幾度となく『愉快な事は無い非常に難有い』を連發して漸く引上げたのは十一時を大分廻つた後だつたと云ふ。愆くて一行は其翌二十三日朝鮮滿直通で歸滿の途に就いて行つた。知らず、新羅の鬼と、京城の藝者と何方が印象が深かつたら

東洋漫遊客が殖えるだらう

日支巡遊券發賣

歐洲戰爭の爲め世界の遊覽地たる佛蘭西、瑞西、伊太利が戰亂の渦中に陷つた爲め阿米利加人の遊覽地を奪はれたので巴奈馬太平洋鐵道汽船會社が擬て交渉して來てゐた鐵道院、鐵道局、滿鐵及び支那鐵道巡遊の計畫に就き日支側では去る四月北京で開かれた第三回日支聯絡運輸會議で決定してゐたが頃日又巴奈馬太平洋鐵道汽船會社の調印つきたる爲め愈愈來る一月一日から右巡遊券の發賣を爲す事となつた

妊婦爆藥の爲に慘死す

原籍福岡縣生れ當時慶北迎日郡倉州面大浦洞居住漁業森本常吉妻さだ(二四)は去る十六日午前八時頃自宅に於て濕氣を帶びたるダイナマイトを火にて乾し居りし中俄然一大音響を放つて爆發し見るも無慘の即死を遂げたり所轄九龍浦憲兵派遣所より憲兵現場に出張し現狀を調査し死體の檢視をなし死體は夫常吉に引渡したるが慘死者さだは當時妊娠七箇月なりしと而して件の爆發物の所持に就ては夫常吉を取調べたる處同人は同午前七時頃九龍浦の海岸波打際に落ち居りしを拾ひ歸へりしものなりと申し立てたるよしなるもこは疑はしく受取れぬ不審の點あり又同人は不正漁業嫌疑者として常に其筋より注目されゐたるものなりしといへば件の爆藥の出所極めて怪しく目下內偵に調査中なりと

三千圓を盜で朝鮮に向ふ

原籍福井縣南條郡湯尾村生れの藤田文次(二三)は豫て滿洲營口郵便局に遞信事務員として勤務中本月十一日午後六時爲替金二千九百餘圓を窃取し同十三日午前九時半大連行列車にて安奉線に據り朝鮮に向ひたる形跡あるより其通報に接し京城各警察署にては手配中の所同人は遂に二十一日夜奉天に於て取押へられたる旨其筋に通報ありたり

五名凍死せんとする處を救はる

仁川署管內富川郡德積面旺山里住民吳基燮外四名は日本形漁船に乘り前記旺山里沖合に於て鱈漁に從事中七日午前七時頃突然暴風の襲來を受け轉覆し五名は辛うじて船底に取り付きたるも折柄の寒威と氷の如き海水に全身凍りて手足の自由を失し凍死に瀕し漂流中同日午後三時頃信島及び三木島の中間に於て兩島の住民趙順祚、李仁俊、金昌祚、朴周封、金昌守の五名が發見し五名共無事救助されたり流失物損害七十七圓七十五錢なり

仁川にも猩紅熱頻々發生

仁川尋常小學校五年生女子三の組に二名の猩紅熱患者發生し一名は死亡し他の一名は目下入院中なる事は既報したるが去る二十一日又々前記患者を出せし三の組生徒たる石丸はるの姪にしてはると同居しゐる仁川府萬石町五十二番地第一號幸一長女下村千代(二)が猩紅熱に罹りたる旨小倉醫師より屆出ありたるを以て例に依り係官出張し患者は避病院に收容し患家は嚴重消毒を行ひ家族は隔離を命ぜられ因に病毒傳染の經路に就き醫師の推定に依れば去十五日收容せる猩紅熱患者松本はなと同級たる前記石丸はるが同組全部が休業する以前已に菌を保有し千代が之に感染したるものなるべしと云ふ

人力車電車に轢かれんとす

二十二日午後九時頃京城電氣會社の一號電車が黃金町二丁目交叉點に差蒐りたる際仁寺洞の人力車夫金化善(四八)は內地人客を乘せ軌道を橫斷せんとしたるより乘客は驚きて車より飛降りたる機みに車夫は轉倒し腰部を打ちたるも別に異狀なし原因全く車夫の不注意より出でし結果なりと

醉拂つて叩壞す

京城水標町李完鉉方雇人朴準相(四二)は十六日夕方酒氣に乘じ同町野本某方に故なく侵入し同家の玄關口にありたる土製人形(四十圓)を叩き壞し倚ほ障子五箇所を破壞して亂暴を働きたる爲め本町署に引致され檢事局へ

新潟の火事

廿三日新潟市東堀十三番町より十四番町に亙り六十三戶全燒の報あり(大阪特電)

松の內の寄席

落語に娘義太夫

松の內は興行物の書入時、京城では正月は芝居の割合に色物席が賑ふのは每年の例だが今年もどうやらそれらしく芝居活動のまだ定まらぬうちに寄席の方は早くから話が纏まり浪花館では恒例とあつて東京落語三遊派の若手揃ひ眞打に圓生を迎き當地には御馴染の多い先代の歿後二代目遊三を襲いで眞打となつた元の若遊三が次きに据わり此の外に圓左及び骨て圓遊に隨いて來て動物の物眞似で喝采を博した扇樂に紙切か大神樂を配らつた大一座で華々しく開演すべく遊三は襲名後初めてなので受けることだらうと思はれる壽館は東京娘義太夫竹本團昇一座十名の大一座で開演これも是まで來た娘義太の中ではいゝ方であるといふ、いづれにしても賑ふ事だらう

妓生と大盡遊び

京畿道江華郡下島面沙器洞船乘業金學事金秋玉(三五)は強盜前科一犯の曲者なるが此程入京し太平通三丁目南城旅館に止宿し大金を所持して衣服を新調し或は妓生を揚げて大盡風を吹かし居る所を此奴怪しと本町署の事が引致して取調べると果して本年十一月中仁川龍洞貿易商具昌祖の所有たる籾百六十二石外數點(約八百五十圓)を橫領し之を忠南唐津郡生れの申應均をして賣却せしめ五百十五圓を得て共に京城に逃げ來りたること判明したり尙現金四百六十餘圓を所持しゐたりし所を取押へられたるものなりと

◉仁川署擊劍納會 仁川警察署にては來る二十五日午後一時より構內道場に於て擊劍納會を催すべし

◉喜久家の移轉 南山町喜久家にては二十六日より旭町一丁目元岡田辯護士宅跡に移轉す可しと

◉京城局の切手類掲示 京城郵便局にては切手類、葉書、記念葉書、封皮、封緘、貯金臺紙等其の他各種の見本を局前に掲示し一般公衆の參考に供しをれり

◉記念繪葉書と捺印 京城郵便局にては引きつゞき御大典記念繪葉書を買捌きつゝあり日々需要者多き由なるが買受者の希望に依て御即位式の記念日附印を料金印面以外の個所に押捺すべしと

◉大和軒の新菓子賣出 本町一丁目大和軒より賣出しつゝある東京田丸屋製の福々豆は最初に適する許りに非ず料理の吸出しにもよろしく賣行き仲々盛んなりとのことなり

◉明治屋の大賣出し 京城本町明治屋にてはクリスマス、プレゼントと歲末贈答品の大賣出しを始めたるが玩具入の袋十二錢位より二圓五十錢位までの格好なる品を始めとし內國產外國產の珍らしき物品多き由ほか同店にては內地本支店共通の商品切手を始め二十日より年末までの十日間には現金五十錢以上の買上げに對し抽籤割引券を提供する由

えんげい

▲大正館新寫眞 二十四日より新寫眞を差換へたり重なるもの(泰西奇談)眞珠の行衞三卷五十二場上松之助一派出演新派活劇馬賊又五郎二卷二十一場市川延三郎一派出演舊劇北川山靈驗記月隆山の鬼女三卷八十五場の外實寫アルメニアの古蹟等なり

▲黃金館 本年掉尾の大寫眞と稱する冒險活劇死の騎手並に新派悲劇人の親は好評にて連日大入を續け居れり

▲浪花館 新派浪花節京山若丸並びに吉田若秋一行にて開演好評を博し居れるが今回お名殘興行として金十錢均一とせり

▲御成座 二十三日の替り狂言は一番目坪內博士作島朝七場、二番目ハツピー二場なり

特價發賣申込の好時

青坡 吉村君潔著

銃獵之趣味

朝鮮の獵地を知らんとする人＝見！銃獵の手引＝多獵を希望せん人＝

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して…う者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり這は其の…せざるが爲なり本書は銃器の如何なるかを說き者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地へたる處始めて說き又「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價四十錢 特價金三十錢(郵稅六錢)

發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

驚くべき廉價・講談雜誌界の大恐慌

講談落語 娛樂世界

三週年記念新年實費號

名人揃の…

□加賀騷動(長講) □七福神(落語) □藤田傳三郎 □大原女 □山の大暴動 □染いろ(落語) □名工濱野矩隨 □鼠小僧 □出世の白餠 □やくわん(落語) □小雀八五郎 □武松の斬込 □初夢(落語) □水戸黃門記 □氣迷ひ(落語) □大關の戀の取組

△辰年各人士の運勢 △乙卯の劇界 △萬歲とお寶 △色物藝人いろいろ △活動映畫の裏表 △端唄茶話 △活動寫眞の空中劇 △朝鮮か妓生か △圓朝さ…

■國事探偵 松居松葉 ■魔女の戀 岡本綺堂 ■德川家寶藏破 ■十一番地の川岸 久保田萬太郎 ■お夏 田村俊子 ■築地草 永井荷風

菊判本文四百餘頁の尨大なる冊子石版及寫眞口繪 價僅に金卅錢

■內地產 ■朝鮮產 桑苗 販賣

京釜線大田驛前 東洋蠶業株式會社出張所

■本社は每年朝鮮各道郡廳に對し尤も多數納入の經驗を有せり
■御一報次第苗木見本及價格見積書を進呈仕候

…分を四班に分ち去る十八日深夜に及んで不良者掃蕩の大検擧を擧行せり即ち四班に分ちたる各班下士を班長とし既ぐ各要地に立たしめて警戒怠りなく午後の十一時より開始して翌朝四時に…漢江派遣所管内一圓に於ても同様の…南の東南部一圓に手を延ばせり…を中心とする道路の便に依り…浦は陸境に武備を張りつゝ一面湖南…に木浦商人猶起して輸移出貿易をも併せ自己の手中に收めんとし活躍し…目覺ましきものあり

◎不要存地貸下

其後慶尚北道に於ける不要存地貸下の發表されし分は第一盈徳郡盈徳面笠蘇山の一部にて面積三百三町歩餘貸付料金一箇年五十七圓五十八錢傾斜は餘り緩にして下麓稍々急なるも埴質壌土にして地被草生盈徳邑を西に距る約三里にして車道通し下麓を通せる河流は増水時を利用して僅に々便なり第二同上達山面笠岑山のうちにて面積四十八町歩貸付料八圓六十五錢傾斜緩にして盈徳邑を西方に去る約三里車を通し下麓を通せる河流は増水時を利用して管流をなし得るも交通運搬共に稍不便なり林況は一部にアカマツ五六年生稚樹散生せるも大部分は草生地なり第三同郡達山面茂林山面積三十五六町餘貸付料六圓五十六錢傾斜緩にして全部草生地盈徳邑を西に去る約三里半にして車道通じ下麓に通せる河流は増水時を利用し管流をなし得るも交通運搬稍不便なり第四同郡知品面納谷山にし面積三百卅九町餘貸付料金五十九圓二十六錢傾斜急にして花崗岩より成る砂質壌土なれども地被草生全部芝草を利用し得べく盈徳邑を西に去る約三里半下麓に車道通じ交通運搬稍々便なり其他同郡に於て十數箇所の貸下地あり詳細は慶北道及び盈徳郡廳に就て見る可しと

◎先月生牛輸出

二千頭で五萬圓

十一月中咸鏡北道國境輸出生牛は合計二千七十六頭價格五萬一千七百五十二圓にして實に未曾有の輸出額なりとこれを十月中の一千四百四十八頭四萬三千二百八十三圓に比するに倚ほ六百二十八頭七千四百六十九圓の増加を示し國境輸出牛の新記録を作れり本月斯く生牛輸出の旺盛を見たるは上旬に於て露領煙秋に於ける牛價格の昂騰して一布度(大約我四貫五百匁に)就て牡牛五圓五十錢牝牛五圓の高値を唱へたる爲牛商人は勿論農閑期にある農民も競うて放資せしに原因す而して本月の重要輸出地は龍洞の八百八十九頭二萬二千百三十九圓新阿山の五百五十六頭一萬四千六百四十八圓土里の五百六十頭一萬三千二百八十四圓等にして土里の輸出牛は全部龍峴牛市場に於て取引せらるゝものにして直に對岸露領煙秋に仕向けられ龍洞、新阿山輸出は其の殆んど全部は支那領通過露領煙秋に仕向けられ一小部分のみ耕牛として琿春に仕向けらるゝ煙秋に仕向けらるゝものは同地にて屠殺の上肉は浦鹽に搬出軍用に供せらる尚ほ本年一月以來十一月迄の國境輸出生牛は七千七百五十四頭價格二十七萬三千七百四十八圓にして之を大正三年中の輸出七千百三十四頭二十四萬五百十四圓に比すれば六百二十頭三萬三千二百三十四圓の増加を示し居れるを以て本年中の總輸出は優に前年に比し一千五百頭五萬圓を増加するに至らん

◎釜山穀物出來高

釜山穀物市場にては例年になき賣買高にて當月上旬三萬八千三百八十六箇中旬四萬二千八百五十九箇にして昨年の當月上旬三萬九百五十八箇中旬三萬一千九百六十三箇下旬三萬五千九百零八箇合計九萬八千八百廿九箇なり本年下旬豫想四萬と見做し十二萬一千二百五十五箇に比すれば二萬二千餘個の賣買增額を示す又取引値段に於ては昨年の玄米十二月中旬迄平均八圓零五錢本年中旬迄平均十一圓六十錢に比すれば三圓五十五錢の高價を示せり其他は麥類は一圓高大豆に於ては滿洲大豆の安値結果六七十錢高にて持合賣買行はれ居れり

◎平南春繭一萬石

平安南道の産繭額は當局の指導宜しきを得たる結果第一次五年計畫に於て豫期以上の好成績を示し明治四十六年僅に千六百石に過ぎざりしものが本年は實に一萬石を超えたるが第二次五年計畫に就ては目下取急ぎ調査中なるが只聞する所に依れば來年は春蠶のみにて一萬石を收繭するの計畫あり即ち朝鮮の産繭額に於て平南が第一位を占むるの日遠からざるを知るべし此の計畫を遂行せんには三萬九千四百廿一枚の掃立を要すべく本年の蠶種製造高を見るに蠶業傳習所蠶種製造者其他の製造を合するも一萬七千七百餘枚に過ぎず殘餘の二萬一千六百餘枚は勢ひ内地に供給を仰ぐべく尤も今後蠶種の製造獎勵と共に翌年度以降に於ては内地よりの移入漸次減退すべし

◎釜山米の聲價

從來朝鮮米中其聲價も高き米の群山米は全羅南北道に於て産出なし居り尤も米商界にても一層價位を高め居りしが近來其重きを當釜山に奪はれんとす最近に於ける神戸市場取引直段左の如し

馬山改良上格十二圓卅錢下格十二圓十錢釜山改良上格十一圓九十錢同下格十一圓六十錢にして其れに比する群山日本種十二圓十錢同改良上格十一圓八十錢同下格十一圓五十錢と云ふ比較なり然る時は慶尚南道馬山米の下格より群山米の上格は其價値に於いて三十錢下値に取引されつゝあるは是全く慶南米の米質好良なる事云はず共商人間の取引直段の示す處なり

然るに米穀檢査の成績に於ける全朝鮮内にて群山の如きは其設備又改良等に於て最早完了せるもの〻如し、高釜山の如きは檢査實施以來未だ僅々半箇年に過ぎざれ共前記の如く内地商人の間に於いて高價に取引さるも之れ全く檢査の成績日猶淺きにもかゝはらず檢査の宜しきと米質好良なるとに依るものと推知すべし今後一箇年を經んか農家の改良檢査の好良にて聲價益々高まるべし然る時は米の群山の聲價は必ず米の釜山と稱するに至らんか

本場 秩父名仙 銘仙 半衿 銘緞
京城本町一丁目
丸木屋
電話一三四二番

◎結局土地收用

平中敷地問題

平壤中學校敷地の買收は大半終了し已に地均しをなしつゝあるが京城旭町高橋久吉の所有地千九十三坪は同氏との協議調はざる爲め之れを買收する能はず工事の進捗を缺ぎ居れる事は既に報じたる所なるが其の從業者たる總督府より本道長官に向け裁決を促がし來れるを以て道長官は同氏に對し來る二十八日迄に何等かの回答無き場合は土地收容法に依り收容裁決す可ければ云々同人に通牒を發したるも未だ何等の回答なき由

◎連絡船缺航

廿二日午後入港すべき壹岐丸は定時下の關を出港し途中風浪激しき爲め下の關に引返し乘客は同夜出港の高麗丸に移乘せしめ廿三日午前入港せり

◎漁撈船製造

總督府にては來年度に於て百噸級の汽船を造り各沿海の魚獵を兼ね監督取締の爲め巡邏すべきを以て慶北東海岸の漁業にも非常なる援助を與ふ可しと漁業家は喜びをれり

◎密陽禮山間通路

密陽禮山間三等道路四里二十九町大正三年度より五年に至る三箇年繼續事業として工事中の所初年度分たる一里二十九町は去月末迄に既成せり次年度分に屬する一里五町二十間は明大正五年一月四日より起工する由なり

◎北鮮より

▲國境と檢疫設備

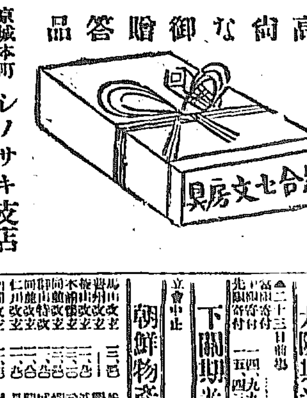
露領烏蘇里州監境に於て近來屢々犯則行爲の行はるゝより同州監督官は一般國境朝鮮住民に對し國境通過生牛其他家畜は特に露國獸醫檢疫の設備あるクラスセーリスキ(咸北道對岸鹿島)又はフンチウンスキー(琿春より露領に到る地點)兩檢疫所の一を經由し之を許可する事となり檢疫所以外の小徑道路を通行する家畜は如何なる場合と雖も之れを許可せず然して犯則者は嚴重なる懲罰金を課するか或は沒收するかの途に出づる方針なる旨を淸津駐在露國副領事より咸北警務部長宛通知する所ありたりと

▲大豆の粒選獎勵

咸北道の大豆粒選は從來實施の結果成績佳良にして品質の改善品種の統一及び收量の增加等實績見るべきもの尠からず本秋始政記念共進會に於ける出品物に見るも頗る優良にして他道産に讓らず大に咸北大豆の聲價を高めたり、然れ共昨年に於ける粒選實施戶數は農家總戶數に對し粒選實施戶數の七割又は大豆總作付反別に對し粒選種子作付反別七割強に過ぎずして未だ全部實行の域に達せざるを以て當局者は大に之を遺憾とし結氷期の農閑を利用し府郡面長洞里長洞契長等を獎勵し農務機關の援助を得て道内全般に亙り粒選をせしむる事としたり

▲間島人土地放賣

近來咸鏡北道對岸支那領間島在住の支那人にして土地を放賣せんとするものあり之が原因は目下間島問題が日支間に於て行惱みの狀態にあるを以て一般に將來の成行を憂慮しつゝあるが如く渠等の語る所に依れば間島は久しからずして日本官憲の施政に服從せざるべからざる狀態なるを以て永住すべき土地に非ずとなし賣却すと

京城本町 レノサキ本店
高尙な御贈答品


京城本町 レノサキ支店

▲淸津と開鱈製出

淸津近海秋季開鱈の乾製は本年鱈漁稀有の豐漁にして引續き漁獲ありたるを以て昨年迄繼續したるが地上の結氷降雪等の爲め乾燥困難を來したる結果本月中旬を以て一先づ中止せるが本秋開鱈の製出額は淸津のみにて四十餘萬尾梨津方面にて二十餘萬尾計六十餘萬尾に達し價格は赤物の不振なりし爲め漸次昂騰したれば砂からず市況に活氣を添へたり(元山)

◎連絡船上陸客

廿二日午前入港新羅丸二等客(一等七名)…

商況

債券現物特電

東京 二十二日出來値段(前日との比較)
東洋拓殖 九六、〇〇
日本郵船 一六四、〇〇
朝鮮銀行
朝鮮瓦斯 一四七、五〇
朝鮮鐵道

公債直取引電(東京)

二十二日出來値段(前日との比較)
五分特別 九五、五〇
五分甲號
一圓四分
二圓四分
甲號五分 九三、五〇

深川在米特電

二十二日現在高
朝鮮米 八〇、九四〇
臺灣米 六一、八二七
內地米 一七七八、二三六

東京期米特電

二十二日前場 一月限 一五、四〇 一五、五一 一五、四〇 一五、四七
寄付 高値 安値 止め

大阪株式特電

昨後場高の入電に反し今前場は各株共安を見る…(以下銘柄別相場 不鮮明)

大阪三品特電

二十三日前場 (相場 不鮮明)

大阪期米特電

二十三日前場 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 …

下關期米特電

二十三日前場 寄付 高値 安値 先限 一五、四九 一四、九三 止め
立會中止

朝鮮物産特電

馬山改玄 ― 釜山大豆
群山改玄 ― 馬山大豆
木浦改玄 ― 元山大豆
仁川特改 ― 城津小大豆
鎭南浦改玄 ― 仁川大豆
仁川改玄 ― 平壤大豆
…

雜報

◎糖粉界の昨今

相場の釣上に焦慮 製粉漸騰

傾向

◎綿布の其後

頗る强硬 値上げ意無し

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長三二二七、三三九

◎毛糸騰貴す

細番物の注文遝 殺到

◎板硝子更に昂騰

今朝の入電は大阪 愈々菱印の二十圓 報じ來…

補充品買入の困難 現下唱ふる高値 相場の標準となる

◎新高野强人氣 十日以上出遲れ 五圓七十錢 內地産

◎蜜柑小高し 一梱一圓六七十錢より二圓內外

田中金物店

◎小賣白米値上 五厘方の値上

下關相場

各地商況

京城正米

地場玄米は内地に移出口 仁川へ積出

人氣の消長に大關係

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 今村覺次郎 電話長三三七、三六八

南大門の廻米

仁川現物市場

仁川期米

二十三日前場 大阪 三錢高の入電と三節三十一錢 尚安移りに遂に十一圓 大關門を打割り 五錢と勢の散會

前場の商戰

市場零聞

▲前場は不勢 投げを招致

仁川海岸町 行貿仲買店 吉 電話長九一二〇、三二二

正米界の不況 手仕舞 賣り多く 利喰 混戰

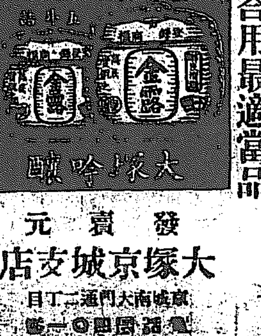
又復十圓臺 直に顔合 新甫生

▲停止中の下關 此邊納會

仁川米豆取引所仲買人 顧客本位正確神速 三ビサン仲買店 電話四二三番

仁川米豆取引所 廿三日の二月限

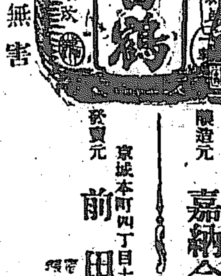
年末年始御贈答用品各種
カステーラ、三色羊羹、葡萄飴並に勅題菓子調製
和洋菓子舖 京城本町二丁目 永田亭 電話八六五番

優等銘酒
歳暮贈答用最適當品


品質卓絶中味豊富
發賣元 京城南大門通二丁目 大塚京城支店 電話四〇七番

時下嚴寒の砌り御得意様各位益々御清榮の段大慶至極に奉存候陳者弊亭儀各位の御引立を蒙り日々隆盛に赴き候段奉深謝候就ては此際聊か平素の御厚恩に報ゆる爲め特に一層の大勉強仕り忘年會、新年宴會及お正月重詰其他御料理一式如何程にても御需めに應ず可く候間些少に不拘御用命仰せ付けられ度此段謹んで御願申上候
京城南山町一丁目(電話一二三番) 松葉亭

歳暮大賣出し
龜屋

大日本優等清酒
品質純良 衛生無害


攝津御影町 釀造元 嘉納合名會社
京城本町四丁目十四番地 發賣元 前田酒店

毛皮並に皮革製品廉價販賣部
京城本町二丁目(京城銀行前) 木下販賣部
毛皮油ぬき、なめし、入念の上他に比類なき安價に調製可仕候間多少に不拘御用命の程奉願上候
御注文は凡て本町販賣所にて御引受け申候間同所へ御立寄を乞ふ
京城黄金町三丁目(黄金遊園前) 電話九三八番 木下製造工場

年末歳首御贈答品
砂糖
樽入 袋入 切手 各種
京城本町一丁目 砂糖商 澁谷商店 電話七七一番

越後大評定

第八十二席 早川貞水口演

毒藥の調合

美作は濱野玄祐の説明を承はり 美『フウーム、七草の故事承はつて誠に面白く存ずる、就ては濱野、之を其方存じ居るか』と小さい瓶を出して見せる。玄祐之を見て愕然驚いたのは、鳥蛇白蛇硝石の毒藥で御坐います 玄『是は何故あつて斯かる物を……』美『サア、之を其方に於ては如何か、調合いたして、丸藥のやうに拵へくれぬか』玄『してそれは如何なる事に御用ひ遊ばすか、醫者は濫りに毒藥の調合は能はぬので御坐います、と申しますは、醫は仁術長袖にして人の生命を預かり、病を癒すが役目若し之れを醫療の外に調合いたしたとあつては、人命を斷つの大罪人、この儀は平に御免しを……』美『其方ならでは、之を調合いたす者これなく、依つて之を其方に打明かすのである、其代り此の用を濟ましくれれば、其方に五百石取らする』玄『ハア、誠に有り難い仰せには御坐いますが、醫者として左樣な調合は』美『コレ、其身も醫者を致して居つても、立身出世を致す方が宜いではないか如何だ』玄『恐れ入りますが其毒藥は一體調合いたして誰樣に御用ゐ遊ばすので御坐いませうか』美『ナニ』玄『如何なる所へ御用ゐ遊ばすので御坐いませうか』美『何と申す、誰樣に用ゐる左樣な事は尋ねでも宜い、予が申し付けたるならば、其通り致せば宜いのぢや、肯かぬか』玄『何に御用ゐ遊ばすか存じませぬが、之を御丸藥に調合いたすだけは、何卒御免下されい、他人に仰せ付けられ度』美『然らば其方は、此美作の申する言を背かぬと云ふのか』玄『ハイ、其儀だけは』美『ム、さては此方が毒藥の調合せえと申すに之に從はざるは其方大概予が望みを察したに相違ない何うあつても其調合いたさぬな』玄『恐れながら御辭退仕る』と云ふと次の室で、エヘンと咳拂ひに及びましたることにてサッと襖を開き、其處に現れたのは荻野流の鐵砲の名人成瀬作十郎、手槍を提げ 作『汝玄祐、愈御家老の仰せに從はざるに於ては、是非に及ばぬ唯ひと突きに』玄『ホ、ホツ、是は……』切尖を向けられたから、蒼白くなつて 玄『恐れ入りました、是非に及びませぬ調合いたしますれば生命だけは御助けを願ひたい』作『然らば調合いたすか』玄『エ、調合いたすで御坐る』そこで覆面を致して濱野玄祐、この毒藥を入れ、御丸藥を拵え上げたのが凡そ二十粒程 玄『是で宜しう御坐いますか』と、毒を取扱ひましたから、手などを淨めまする 美『大儀に存ずる、一獻取らする』玄『甚だ恐れ入りました』美『其の代りに我望み遂したるときは其の方に五百石遣す』玄『ヘエ恐れ入ります』手づから美作盃を下さる玄祐有り難く頂戴いたし居る、肴を取らすると云つて、烏賊の木の芽合等を御取り下さる、四方山の御話して、御酒の御對手を致して居ると、玄祐ブルブルッと顫へて、滿面眞蒼白になると『アーラ苦しや』と七轉八倒、一同顏見合せ『是はッ』と驚くのを美作『騒ぐなッ』其内に玄祐御廁下へ這出し『アッ』と云ふと、七竅から血を吐いて狂ひ死、悶え死、その所へ倒れました。

入院隨意(診察夜九時迄)

泌尿器病 專門

腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病

永樂町二丁目 金光教會隣り

安部醫院 電話四一九番

十二月廿五日九星

舊十一月十九日 庚寅

本命九紫 剛滿大安

[illegible]

年末の贈答品には 實用向きの

ちゝぬ銘仙

京城本町二丁目 ちゝぶや 電話八九〇番

珍柄豊富

期米

取引確實 定期米賣買之栞無代進呈 前金注文は紹介を要せず

大阪市北區堂島濱通一丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人

入江商店

電話東 長一二一七 三九六 九五 四六一

秘密嚴守

新刊書御案内

書名	著者	定價
朝鮮法令輯覽	總督府	九〇〇
大日本國語辭典	上田松井	特五〇〇
修正增補漢和大辭典	重野外二名	三〇〇
新選園藝全集	鈴木公次郎	一〇〇
宇宙縮刷解說	三宅雄次郎	一五〇
豪俠傳二卷	伊藤痴遊	九〇
西遊スケッチ	和田垣謙三	一二〇
未だ見ぬ親	五來素川	一〇〇
銀と鐙	日向きむ	八〇
文壇與太物語	高山辰三	六〇
新作御伽學校	少年文學社	六〇
金剛草	漱石	一二〇
新英文解釋研究	山崎貞	七〇
簡易製鐵術	向井哲	一三〇
土木工學上卷	口外五名	二五〇
俳諧日記	俳書堂	五〇
短歌日記	東雲堂	四〇
俳句日記	東雲堂	四〇
文章日記	新潮社	六〇
標準かるた讀取法	東京かるた會	八〇
同讀取練習用		六〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七三

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三番

十二月廿四日より新寫眞提供 ○實寫アルメニヤの古跡 ○滑稽猫の悲劇 ○滑稽好き會御伽エクレール會社傑作 ◎泰西大奇談 眞珠の行衛 全三卷 ◎新派大活劇 馬頭又五郎 全三卷二十六場 ◎舊劇北向山靈驗記片𩛰山の鬼女 全三卷八十五場

黃金町四丁目 黃金館 電話二六三七

十二月二十一日より ○歲末特選の大寫眞 ◎死の騎手 全五卷 ◎新派大悲劇 人の親 全四卷

明治町 浪花館 電話二六〇番

新派 讀のオーソリチー 京山恭為一行 △小天狗新選(谷春)義烈百傑(國洲) △美術の粹名作左小刀、外に餘興 似御好みに依り浪界各羽仗の節鑑に供し候 長講二席(京谷講演) 毎日午後六時より開演仕候

本町一丁目 有樂館 電話二六六

十二月十八日より新寫眞 ○新派活悲劇 閻魔の恋 全三卷 ○泰西正劇 戀ぬるゑにし ○泰西大活劇 暗鉛 ○舊劇 久米の仙人 全七十場

壽町 壽館 電話一〇五〇

神崎與五郎(浪花軒居風)一休悟道鉄(桃中軒雲道)小栗判官(京山愛子)倉橋傳助、宇都宮釣天井長講二席(京山圓馬)

本町 壽座 電話五七八

十二月十八日より 新派誠美團一行

御成座 電話二九一

蛇印 アンチピリン丸

かぜ ねつ 最良薬

早く治る薬 よくキク薬

本舖 大阪 東京 丹平商會

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亜鉛凸版 京城日報社 寫眞製版部

大正五年 國民年鑑

年末年始の絶好贈答品 千頁の大冊定價五拾錢

三度の飯は二度にて可也と論ずる者あれど國民年鑑の不必要を唱ふる者の日本國民中唯一人も有らざる可し

國民年鑑目次

●大禮記 ▲大禮前記、大禮の準備、齋田點定の儀、大禮延期、大禮使と大禮費、諸儀式御日取と大禮奉行地、期日奉告、齋田點定の儀 ▲大禮本儀、賢所移御の儀、東京、京都 ▲即位大禮、皇靈殿神殿へ奉告の儀、紫宸殿の御儀、賢所神樂の儀 ▲大嘗祭、御禊大祓の儀、神宮皇靈殿並に官國幣社に勅使發遣の儀、大嘗祭前一日鎭魂の儀、賢所御饌供進の儀、皇靈殿神殿に勅使發遣の儀、神宮奉幣の儀 ▲大嘗祭本儀、悠紀殿供饌の儀、主基殿供饌の儀 ▲大禮後儀、大嘗祭後一日鎭祭の儀、大禮後大饗夜宴の儀、大禮後大饗第二日の儀、大饗後大饗夜宴の儀、神宮親謁の儀、神武天皇山陵親謁の儀、前帝四代の山陵親謁の儀、東京に還幸の儀、賢所溫明殿に還御の儀、大禮雜記、恩赦、贈位、叙位敍勳、養老賑恤、神社升格、文部省大典奉祝唱歌、記念事業、各地方慶祝、東京市の奉祝、京都市の奉祝、大阪市の奉祝、授爵、觀兵式及觀艦式

●一般事項 皇室、領土及土地、氣象、人口、政治、外交、軍事、財政及金融、農業、牧畜業、林業、漁業、鑛業、工業、電氣及瓦斯業、商業、外國貿易、交通、鐵道、海運、通信、宗教、教育、表彰、圖書館及出版物、衞生、慈善、司法、警察、美術、文藝、演藝、歌舞音曲、相撲、運動遊戲、大正四年一月以降の重要事件、東京市、京都市、大阪市、横濱市、神戸市、名古屋市、北海道、朝鮮、臺灣、關東州、滿洲、樺太、在來日本人の發展、英吉利、濠洲聯邦、佛蘭西、獨逸、露西亞、墺地利、洪牙利、伊太利、北米合衆國、支那、過去帳

●現代人物一覽 日本の部、朝鮮の部、支那の部、歐米の部

●銀行會社一覽 大正五年略曆、年曆、年齡早見表、滿年算月表

本書索引の一節

●位置(日本)◎市場◎醫學聯合大會◎醫師◎伊太利▲土地の利用▲陸軍▲離婚率▲王室▲王室費▲海運▲海軍▲外國貿易▲家畜▲內閣▲軍艦▲軍港及要港▲富力▲財政▲砂糖▲議會▲敎育▲漁業▲面積▲入口▲宗敎▲祝祭日▲生產及死亡◎阿片◎英吉利▲土地の利用▲領土▲陸軍▲離婚率▲海運▲海軍▲外國貿易▲家畜▲大學▲內閣▲農業▲軍艦▲軍港及要港▲富力▲物價▲鑛業▲皇室▲皇室費▲鐵▲財政▲產業▲議會▲敎育▲漁業▲面積▲宗敎▲祝祭日▲人口▲製造業▲生產及死亡▲石炭▲船舶◎移民◎遠近登錄◎印度◎印紙稅◎飲食店

大取次所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

優等清酒 一鶴

京城本町四丁目 電話六(三)四番 本莊酒店

入院隨意 京城南大門通三丁目(平木商店横入る)

胃腸病院

院主 佐々木杏造 電話一六五九番

外科 皮膚科 瀬戸醫院

旭町二丁目(舊三丁目)

醫學士 瀬戸潔

診察夜九時まで (電話二四九八番)

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行

相模丸 十二月廿七日 正午出帆
三河丸 一月十二日 正午出帆
行島丸 一月 三日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話 堀回漕部

朝鮮郵船

全羅丸 一月三日
京畿丸 十二月廿四日
黃海丸 十二月廿八日
咸鏡丸 一月七日 釜山發
(仁川より釜山各港寄港連絡)
穩城丸 十二月廿九日
昌平丸 十二月廿三日
鏡城丸 十二月廿五日 元山發
(元山より各港經由雄基行)
平壤丸 十二月 十日 元山發
忠淸丸 一月 十日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
嘉義丸 十二月廿五日 釜山發
江陵丸 毎月(釜山浦項)發
三浦丸 十二月廿八日 釜山發
海州丸 營口丸 巨濟丸 慶興丸 三日目毎 釜山發
顯天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 十二月廿三日 木浦發
公州丸 十二月 日 木浦發
公州丸 十二月廿七日 木浦發
宗信丸 十二月廿四日 仁川發
江原丸 十二月廿七日 仁川發
麗水丸 十二月廿五日 仁川發
晋州丸 十二月三十日 仁川發
全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發
平安丸 十二月三十日 十二月廿七日 群山發 若松發

京城南大門前 京城代理店 松原運送店 電話(二七〇)

共同汽船仁川出帆

阿波共同丸 芝罘、大連行 十二月廿四日 午後二時入港 十二月廿六日 午前九時出帆

朝鮮西海岸各港を經て雄基行
第一共同丸 十二月 日 午前八時 出帆
第三浦鶴丸 (元山出帆) 十二月 日 午後九時 出港

仁川代理店 山下回漕部 / 田口回漕部 / 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 十二月 日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十二月卅日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 一月 四日後五時出
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 十二月廿三日後十時出
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 十二月 日後九時出
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 一月 一日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月三日九日十五日廿一日廿七日 午後十時出帆

釜山通町 本町 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

芳吉丸 十二月 日後四時出帆
君が代丸 十二月 日後四時出帆
土海丸 十二月 日後四時出帆
大神代丸 十二月 日後四時出帆
第二有丸 十二月 日後五時出帆
太湖丸

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
汕頭丸 十二月廿六日 午後五時
溫州丸 十二月三十日 午後五時
漢城丸 十二月廿三日 出帆
×○木浦、釜山、長崎行
安東丸 十二月廿六日 午後二時
▲城津丸 一月二日 出帆
×○鎮南浦、大連行
安東丸 十二月廿八日 午後二時
城津丸 十二月 出帆
×◎鎮南浦行
潔州丸 十二月廿三日 正午出
◎大阪直行
天佑丸 十二月 日後五時出
○群山、釜山、横濱行
△千珠丸 一月十二日 午後四時
△チヨイサン丸 十二月卅日 出帆
○大連直行
△千珠丸 一月七日
△チヨイサン丸 十二月廿五日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆)
▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
地久丸 一月八日
神宮丸 十二月廿八日 午後三時
▲大智丸 一月二日 出帆
○上海、芝罘、打狗行(大連出帆)
湖北丸 十二月廿六日
安平丸 一月十日 午前十時出帆

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番、二二〇番、五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

京城日報
十四日朝刊（第二千九百八十二號）
第三版

定價 一部金三錢 五厘 一ヶ月金七拾五錢 郵税共 …
廣告料 …
發行兼編輯人 … 印刷人 … 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話 … 振替 …

京城日報

自給自足

今日經濟を議するものは、概ね世界主義を取り、天下は有無相兼する一の大市場なり、一國土一領域内に於て自給自足を求むるが如きは、交通進歩し取引自由なる今日に云ふべきの事にあらずと爲す、然れども是れ平生無事の日に於てのみ之を言ふべくして一朝大事あれば則ち本來の自給自足主義に復るの外なし、此度の歐洲大戰役の如きは、則ち最も此事實を證明するに足るものあり。

今日歐洲諸交戰國が、食物原料品の供給を得ざるに苦むの現状は今更言ふまでもなし、我大日本帝國が交戰國とは云へ戰線と天涯隔絶し、四方交通自在の地に在りながら、猶ほ且幾多の不便不利なきを得ざるは何人も意外とする所なり、我帝國は本來自給自足主義を取る處にして、今日とても其規模猶ほ存せざるにあらずと雖も、其食用米の如きすら、今や三百萬石乃至五百萬石を輸入せざるべからず、特に最も缺乏する所のものは鑛物にて、其銅石炭の如きは固より、自己の需要を滿たして餘りありと雖も、鐵鑛は甚だ乏しくして其製鐵原料の大部分を支那に求むるといふ有樣なり、我は金貨本位制を取るも、我帝國本土は産金地にあらず、僅かに我朝鮮及び臺灣に産出せるものを、收集して以て其計數を整ふるといふに過ぎず、昨年開戰以來我は外國貿易上常に輸出超過にして、國際勘定に就て之を見るときは正貨は夥りに増加する姿あるを以て幸ひに金に關する問題なきを得るも他の鑛物若くは食物原料品に至りては、到底缺乏を免るべからず。

從來我帝國本土は、其食用米の供給を印度及び交趾支那に求むること多く、是等諸地亦日本を以て一大華主と爲すこと久しと雖も、歐洲戰役が長引き、且其戰局際限なく擴大するときは、假令印度交趾支那が戰地とならざるまでも、其交通運輸の上に大なる故障を生ずることなしと云ふべからずして、我帝國の地位より云はゞ先づ以て食用米の自給自足の計を立てざるべからざるや論なし、且食用米の自給自足は吾人の平常の主張にして、我本土と朝鮮臺灣とを説いて其事に從はゞ、我は食物に就て獨立を爲し得べきや論なく、食物經濟の獨立は則ち經濟の自給自足の基礎なり、我帝國政治家財政家にして是に心を用ふるあらば、其功を成す必ずしも難しとせざるなり。

今日の交戰國民、一として自給自足に是れ力めざるはなく、就中獨逸は孤立重圍の中に陷りて、最も艱苦を極むるの間に於て、拮据經營甚だ努む、其の一年有半の戰鬪を經て今猶ほ自ら支ふるを得るは、則ち其自給自足主義の結果に外ならずして彼は今我が敵國たりと雖も、其長所は則ち之を認めざるべからず、由來國土を擴め國權を張るは、徒らに其國民の虚榮を誇るが爲めにあらずして、實は其經濟上の獨立即ち自給自足の道を求むるが爲めなり、此根本原則を忘れて、新領土政策を説くも吾人其の可なる所以を知らず。

朝鮮の先史民族（承前）

八木奘三郎

（六）先史民族の遺物

朝鮮先史民族の遺跡は前條説く所の文に依れば略ぼ盡せりと信ず、然れども其内部より出る器物即ち遺品の如何は未だ之を知ること能はざるなり、吾人は此點を明にせざれば順序として其時代民族等を論斷する資格なし、故に長篇に涉る嫌ひあれども次に右の概略を紹介す可し。

朝鮮八道（今十三道となれり）の遺跡より出る太古の器物は、單に石器、土器の外、未だ他品を交へざるなり勿論或地方よりは骨器の類を出せしと云ひ、又他の方面よりは銅劍の鑄型を出せりと稱すれども、其の骨器は三韓時代の貝塚に屬せりとの説を聞けば右の確否を決するまで姑く右を保留する必要あり、又銅劍の鑄型は日本の兩筑地方より發見する小形のものに似て、類例餘りに單純なれば是亦他日の問題に讓る可し、蓋し日本の小形なる銅劍、銅鉾は九州に於ては筑前、筑後、中國にては備前、備中の方面に限らるれども、其鑄型の發見は絶無なり、去れば朝鮮に其例有りと云ふは尤も興味深き新事實なれども問題外なれば除外す可し、但し日本の實例上より云へば是等の紡錘車、砥石以下數種ありて其形狀にも多少の異同あれども、概して之を日はば各地格段なる相違なく、其石質は水成岩を多しと爲す、而して殊に吾人の注意す可く、又大なる感興を惹く點は即ち其全部が磨製品なる點に在り、己に此磨石器時代に進み居ることは歐洲の例に徴するも、金屬器時代に移る間際にして、其先史時代中に在りても大に進歩せしことを知るに足れり、勿論咸鏡北道地方には稀に打製品あり（歐人は此種の石器を裂成と稱すれども、吾人は姑く邦人間の通稱に從へり）故に全道凡てと稱す可からざれども大體に於て朝鮮の先史民族は已に磨石器時代に進み居たることは確かなり、我が今日我範圍内に此兩時代の遺跡を併有するは實に學界の一快事と謂ふ可し、而して朝鮮先史時代の石劍は其形狀殆んど銅劍に似たる點あり、又石鏃の如きは長大にして半弓の鏃に似ず、其他石庖丁の如きは日本の九州、中國等より出るものは略ぼ似たる點有り、石斧に至ては我北陸地方の作に類するもの有れども、其例は又琉球物に似たる所有り、其他關東風に類し、畿内式に近き例あり、併し其中には朝鮮獨特の片刄斧形にて中央にクビレ有るもの有り。

又土器の中には俗に天狗鼻と稱する把手附の作あり、其品赤色の素燒にて外面に刷毛目樣の紋樣あり、且つ割合に淺手の作にて、中には底部に木葉形を印する例有りと云ふ、今是等の實物を見るに、日本石器時代の陸平式（常陸國陸平貝塚發見の土器）又は阿玉臺式（下總國阿玉臺貝塚發見の土器）に類して、紋樣は稀に格子目、綱目、横十文字の類ある由なれども全體より云へば無紋刷毛目と稱する方適當なるに似たり、蓋し此種の土器は日本の中間土器若くは彌生式に類して稍や後代に屬すれども何にせよ此赤色素燒にして、天狗鼻を有する土器は朝鮮にては慶尚、全羅等日本に面する三國時代の古墳より出で、又日本にては多く九州地方の古墳より出れば、其相互の關係は深く攻究せざる可からず。要するに朝鮮の先史民族研究は單に半島内の一局部に限定す可からず、東方は遂に日本に關連し、西北は支那、滿洲の廣野に綏接を保つにより其の影響する所頗る大にして且つ感興の深きを知る可し、予は今試みに其管見を敍して世人の參考に供せんと欲す。

新春の京城日報

新年號七十頁

我社は大正五年一月一日歳の改まると共に更に大活動を開始し專心紙面の改良發展に力を致し面目一新以て讀者に見えんとす

大正五年の本紙が如何に面目を一新して讀者に見ゆるかは之を新年號に於て試驗せられんことを望む、紙數實に七十頁敢て紙幅の尨大を以て誇らんとするものにあらず其質の雄大健實華麗を以て半島大新聞の權威を示さんとす、記事に於て材料に於て寫眞繪畫に於て編輯法に於て正に是れ新聞界に一新紀元を劃するものなるを確信す

電報欄の擴張

從來と雖も内外各地の電報の多きは本紙の特色とせる處なりしも大正五年より一層電報欄擴張の必要を感じ内外各地に特派員通信員を增置し電報料を吝まず特殊の材料頻發の事件悉く之を急電に依りて報知せしむる事となせり乞ふ刮目して新春以後の本紙を見よ

議會覗き

東京支局 一記者

前代未聞の騷擾を醸した十八日の衆議院に就いて某政客慨然として語るらく▲當日の紛擾は近年稀な大紛擾であつたばかりでなく總理大臣に肉薄したなどは議會始まつて以來先例のないことだ▲尤も初期議會の頃樺山海軍大臣が「諸君は藩閥を惡くいふけれども今日の如く國家が隆盛になつたのは皆藩閥の御蔭ではないか」こいふやうな豪語を吐いて議員の激怒を招き壇上に押し寄せたとはあつたが併し今度程猛烈ではなかつた▲大隈首相の言論中に『君主權を侵す……』云々の語のあつたのがソモ〳〵紛擾の因であつたのであるが▲首相の此の語が果して當を得てゐるや否やは大いに疑問であつて吾輩も之れに對しては聊か説なきにあらずであるが其れは別問題として▲議論の絶對に自由なる議場に於て如何に其の言論を不穩當と認めたればとて議場の秩序を無視して首相の身邊に肉薄し剩へ之れに手を加へたに至つては言語同斷沙汰の限りである▲議場に於て斯る亡狀は何人に對しても固より恕すべからずであるが大隈首相の如き老齡の身にして且身體不如意の人に對して苟めにも其の身に手を加へたとは何事ぞや▲假令へ政敵として言論の上には火花を散らせても首相のやうな老齡不如意の身は成るべく之れを勞はる心掛こそ普通の人情ではあるまいか▲然るに其の身邊に肉薄して之れに手を加へるに至つては斷じて恕すべからざる亡狀である▲當日の議場には各黨の領袖も出席して眼前に此の亡狀を眺めてゐたであらうが▲斯る場合とあらば直ちに身を以て首相の身邊を蔽ひ味方の議員を叱咤し去るが如きは時に限りての決斷だと思はれる▲反對黨の首領としては斯る態度に出るのが如何にも立派で却て世間の好感を迎へる所以であるのに▲思ひ茲に到らず互に敵黨の議員を懲罰委員に附する動議の出し合ひをやつたなどは其の非を悟らざるのみか、自黨公々其の非を遂ぐるの誹を免れまいぢやなからうか（二十日夜記）

日報俳壇

獅子郎選

火鉢

先生の坐談人を魅す火鉢哉　韭城
言はんとて忘れしを思ふ火鉢哉　潮外星

蒲團

今日安き心もて蒲團かつぎけり　如泥子
憂ひは深く〳〵蒲團かな　同
灯よけて眉深くかぶる蒲團かな　巴城

足袋

紺足袋のさし糸白く[illegible]鬼　羊兒
獨り足袋繕ふ姉に更くる灯の輪哉　同
足袋裏の汚れ見せまじと坐り鬼　同
紺足袋に濶歩せし未だ書生の身　雲帝

冬構

窗の戸に錆銃も冬構　韭城
棕櫚の葉の打つ北窓塞ぎ兒　同
冬構へ頼みかな毛皮掛けに兒　如泥子
冬構ふる寺頼もしと泊り兒　同
刺繡の美を誇る書棚や冬構　水夜
山に買ひし芝落ちて里の冬構　同
山隣や家あれば皆冬構　碓川
冬構戸に來る夜潮怯れけり　東村
我のみの世と冬構ふ椎の樹下　橙黄子

茎漬

茎石に落ちて淋しや納屋の月　韭城
裸火に茎石重し不時の客　同
漬菜屑踏みて群れ去る家鴨哉　橙黄子

湯豆腐

君來ねば湯豆腐に飯をいふ淋し　逸水
湯豆腐や一笑に附す妻が言　宵奴
湯豆腐や今宵母國にある思　幽谷

東京期米特電
▲十三日前場 二月限 寄付十五圓三十二錢 …
十二月限 一二三、六〇 一二三、〇〇
一月限 一二四、〇〇 一二三、九〇

仁川米豆取引所
▲大阪前止三十四錢後寄三十二錢の入電宮地中
甲五分 九三、六〇 …
九十一錢と寄付 … が大阪の暴騰を受けて … は十一圓〇一錢迄上伸したるも … り … して … 市況は大阪の暴騰を受け …

▲本日の現物界
… 三百石 … 五百石 … 六百石 …
… 十錢 … 九十錢 … 五十錢 …

出來高 一萬八百石
平均値段 一節 十一圓九十七錢 二節 十一圓九十三錢 三節 十一圓十四錢 四節 十一圓丁度

●仁川座 … 京城 … 金田萬次郎氏は二十三日午後七時より仲町佛教青 … に入場無料なりと

日本女性の傑物平政子の愛讀書
大正新時代の婦人必讀の一良典籍

假名貞觀政要

定價金壹圓 郵税金八錢

卷首鎌倉時代古鈔卷子本貞觀政要寫眞石版挿入 本文四號活字 菊判三百七十頁

■貞觀政要は唐の太宗帝が大は治國平天下より小は修身齊家の道に至る迄群臣と問答したる事どもを四十の部門に分ちて編輯したるものにして我國歷代の聖天子の御講讀あらせられたるは固より先帝陛下に於かせられては故元田侍講の進講を聞召され又た昭憲皇太后陛下にも同じく本書の素讀を受けさせられ最近今上陛下には一週一回小牧昌業氏より本書の進講を聞召され御愛讀遊ばさるゝやに承る

■特に注目す可きは尼將軍平政子が本書を耽讀したるの一事なり平政子が日本の女性中最も傑出したる政治家の一人たるは何人も異論なき所なり殺伐なる鎌倉時代に而も女性の身として本書を愛重したる心掛は流石に尼將軍たるに恥ぢぬ事にて其の平常に於ける修養の程も思ひ遣られて敬服の外あらず此の假名貞觀政要は平政子が自ら讀むに便せんが爲め當時の博士菅原爲長卿に託して和譯せしめたる物にして難解の原文を何人にも讀み得る樣に書きなほし後世林羅山の著したる直譯體の『諺解』とは非常の相違あり

■假名貞觀政要は平政子が自ら講讀せるのみならず廣く他に讀ましむ可く和譯せしめたる程ありて確かに現代の婦人殊に之れより人の妻となり人の母となる可き人々或は已に人の妻たり人の母たる人々に對して切に講讀を勸誘するの價値十分なるを信じて疑はず此書の内容は固より國家治要の道に就て論說すと雖も又た修身齊家の方に就て稗益する所多きは云ふを俟たず大正の今日に於ては婦人と可き點尠なからざるも一通り天下國家の事を辨へ置くは最も大切の事にして此書の中にも太宗帝の皇后が屢々帝に在りても一通り天下國家の事ある至りて諫言を呈したる事あるを見ても婦人内助の功の如何に大なるかを知るを得可く吾人は呉々も大正新時代の婦人が此書を愛讀して平常の修養に資せられんことを希望して已まざる也

大取次所

京城太平町一丁目
振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

御大禮の記念品は慎重に撰擇せよ

官報

大正四年十二月十一日附 組織せられたる

謹寫團撮影

御大禮記念寫眞帖

體裁 寫眞原版オフセット 大さ縱八寸五分巾一尺三寸 紙質はアイボレー合紙 厚さ一寸五分 頁數六百五十頁 表裝羽二重及桐子桐箱入

▼內容は聖駕西向の時より大饗夜宴に至る三十面

▼本寫眞帖は大正四年十月十二日の官報に據り組織せられたる御大禮謹寫團が大禮使より特別の御認可を受けたる謹寫したるもの內容体裁絶好無比を網羅し、坊間有觸れたる寫眞帖とは全く其選を異にせるもの以て今上御一代の盛儀たる御大禮の記念として永く後世に傳ふべき必須の品たり、本社は特に之を總數壹萬部を限り左記特價にて廣く江湖に頒布する事とせり

▼豫約特價金四圓八拾錢也
豫約申込金を通算す（郵送料共）
但豫約〆切後は定價金六圓

▼豫約申込金壹圓也
（豫約申込と同時送金の事）
殘金參圓八拾錢現品引換の事

豫約期間 自十二月一日 至十二月廿五日

▼代價返金（若品着の上御意に召さぬ時は五日內に返送になれば代價返金すべし）

▼實物見本は當社に備付あり一覧御希望の方は御來社あれ

發行所 東京市京橋區加賀町十八番地 株式會社 日本電報通信社 振替口座東京一四四二番

申込所 京城大平通 朝鮮公論社 電話一〇七〇番

雲南地方風雲漸く急

蔡鍔は既に雲南に到り排袁黨に投じ畫策する所あり同地の風雲漸く急なりとの報某所に達せり（東京特電）

歸國留學生を警戒す

最近駐日公使陸相與氏より密電に接したる支那政府は各省に密電を發し日本より歸國する留學生に對し上陸の際充分警戒し不審の點あらば即座に處分すべしと命せり（東京特電）

英國新兵百萬追加募集提議

英國下院は甚だ活況を呈せり首相アスキス氏は新兵百萬追加募集の動議を提出して曰く開戰十六箇月の終りに於て英國は七十五萬の新兵を各方面の戰場に有す而して。ダーダネルス退却の際には僅に三名の負傷者を生じたるのみ英軍は尙ほセッドルバールを保持し陸海軍は海峡の口を扼し居れどもアンザックの引揚は已を得ざるに出でたりと述べたり（倫敦電報）

長崎控訴院移轉否決

衆議院に於ける裁判所の設置及び移轉に關する法律案外二件委員會は廿二日午後一時開會、本田恒之氏（同志）と豊島政府委員山下技師の間に長崎控訴院建物腐朽程度並に福岡裁判所廳舍修繕に關する問答ありて質問を了り討論に移り本田恒之氏（同志）は長崎控訴院と長崎市とは歷史的關係深きのみならず長崎控訴院は政府の言へる如く左程腐敗し居らずと認むと述べて原案に反對し横山寅一郎（政友）尾越辰雄（同志）豊增龍次郎（同志）原田十衞（政友）の諸氏之に贊成し望月長夫氏（國民）同部熊之輔氏（政友）原案に贊成意見を述べ採決の結果本田說七に對する八にて終に原案を否決せり（東京特電）

總督下關到著

寺内總督は二十三日夜京都より下關著、春帆樓に投ず（門司特電）

松永道長官陞叙

二十三日平安南道長官松永武吉氏に對し左の如く陞叙ありたり（東京特電）

朝鮮總督府平安南道長官 陞叙高等官一等 松永武吉

陸軍部内異動

二十三日左の如く任命ありたり（東京特電）

任陸軍々醫監 陸軍々醫監 大西龜次郎
依願豫備役被仰付 陸軍主計監 大江 玄壽
待命被仰付 同 大町豊五郎
依願豫備役被仰付 陸軍歩兵大佐 東郷辰二郎
任陸軍少將 陸軍一等主計正 高山 嵩
任陸軍主計監 同 神田菊次郎
補近衛師團經理部長
朝鮮駐劄憲兵隊長 憲兵少佐 鈴木 武臣
任憲兵中佐
免本職補善通寺憲兵隊長

雜報

袁氏即位日一說

最近奉天より某所著情報に依れば袁世凱氏の中華帝國皇帝即位式は來春一月二十八日を以て北京に於て行ふ事に内定し各地よりの上書には總て謹奏又は奏聞の文字を用ひせしむ可しと

支那軍隊改稱

現在の支那各軍隊名稱は多く改稱されつゝあり徐州の定武軍安慶の安武軍大原の同武軍の如きは既に實行せられたるが以後改稱せんとするものは直隸、福建、陝西、新疆、甘肅、貴州其他一切にして其中改稱の既定せるは次の通りなりと（北京）

一、山東泰武軍 二、浙江興武軍
三、湖北彰武軍 四、奉吉黑鎭安軍
五、江蘇宣武軍 六、河南德武軍
七、江西昌武軍 八、雲南開武軍
九、廣東振武軍 十、廣西耀武軍
十一、湖南靖武軍

四鄭線工事概要

四平街鄭家屯間借款鐵道は愈北京に於て調印を了したるを以て來春解氷期を待ちて敷設に著手するに至るべきが工事の概要に付き傳聞する所に依れば工事開始期は調印の際來春六月に始まり三箇年を以て竣成すべき豫定なる由なるも同鐵道地域は解氷期頗る遲く

▲七月頃ならでは 全く解氷せざるを以て實際の起工は七月以降なるべく其の竣[illegible]は準備の程度如何に依るべしと[illegible]兩地方は平坦なる土地多くして難工事少きにより一箇年半にして竣工を告ぐべし四鄭間の道程は約五十二哩にして既に二回迄測量をなしたるも愈々工事著手となれば更に確實なる測量を爲し經由地點を定むるの必要あれば少くとも一箇月以上を要し其の上にて停車場其他の必要事項を決定すべし又同鐵道は前述の如く地勢平坦なれば難工事と稱すべきものは遼河の鐵橋架設位なれば其の測量も又困難に非ず

▲同鐵道の工事は 一哩約六萬圓内外にして足るべく安奉線に比すれば其の半額に過ぎざれば非常に工事費を節約し得べく全線に亘りて大體三百二十萬圓を要するに過ぎず此の中最も多數の經費を要するは橋梁にして全線を通じて四箇所あり其の中遼河の大橋は約二千尺以上にして工費四五十萬圓を要すべき豫定なれども鐵類暴騰の昨今なれば豫算以上の支出となるやも知れず尙軌條枕木其他は已に多少の成算あれば工事には何等の支障を生せざるべし（大連）

吉長鐵道と滿鐵 鞍山站鐵鑛問題

吉長鐵道管理問題及び鞍山站鐵鑛開掘問題は何れも日支交涉解決後滿洲に於て得たる利權として當然我が政府より北京政府に其の解決を迫りつゝある所なるが兩問題とも滿鐵會社と密接なる關係を有するものにして即ち吉長鐵道は滿鐵より資金を供給して敷設せられたるものなれば其の管理權獲得の如きは直ちに滿鐵の培養線たる効力を實現し得べきを以て之に對する滿鐵の意見は既に其筋に提出しあり又鞍山站鐵鑛開掘は地理上鐵脈其他の調査は滿鐵にて爲したる關係上採掘權に對する優先權ある次第なれば是又滿鐵の調査に基き交涉せるものにして右二件は何れも北京公使と外交部との談判中に屬し未だ解決を告げざる模樣なれども既に双方の意見相一致したる由なれば早晚解決の運に至るべしと（大連）

奉天最近商況

十二月上旬に於ける奉天の市況は前旬と殆ど大差なく寧ろ稍劣るものあり特産物の出廻は日を追ひ旺盛に趣き大豆の如きは一日七八百石を算し少きも尙四五百石を下らずして相當活況を呈し輸出も前旬に一等を輸する相當の數量を保ち居れり而して豆粕は本旬六車の輸出あり本年度に入り之を以て嚆矢とす 翻つて輸入方面を見るに一向思はしからず是が爲め市況も引立たず即ち綿糸は内地相場の動搖に過ひ商勢不況なり麥粉は前旬と略同樣の商況にして賣行捗々しからず砂糖は今の處語るに足らずと雖も前途好望の色あり紙類燐寸は原料不足の爲め内地相場引續き高きものから當地亦値上を發表したるも取引は依然好況なりメリヤス類及び其他の諸雜貨は前旬同樣の商況にして其他の諸商品の賣行模樣亦僅か乍ら前旬に及ばざる如し（奉天）

山東鐵道近況

▲山鐵營業好況 山東鐵道が我國の手に歸してより既に一年餘に達し其間營業狀態の恢復及び將來の方針確定の基礎を定むべく經營し來りたるが幸にして同鐵道は經營其の宜しきを得て今や獨逸時代よりも良好なる成績を擧げ得たり即ち獨逸時代最近の十二月に於ける一日の營業收入は一萬三千圓と稱せられしが現山東鐵道も亦是と同額の成績を示し然も獨逸時代の收入は鑛山會社獨立したるを以て直炭運賃をも含みたるものなれども山鐵に於ては石炭運賃を除外したる成績なれば獨逸時代より遙かに良好なりと言はざる可らず蓋し歐洲戰の影響を受けたりと雖も山東方面輸出入貨物の增加せると獨逸時代に無かりし貨物の新に顯はれたるが爲にして山鐵一箇年の營業收入は約三百五十萬圓と見て大差なかるべし

▲會社成立の價値 斯る好成績なるが故に山東鐵道は最初より一の獨立會社として經營するとも敢へて至難の業に非ざりしなり即ち一箇年の收入鐵道營業に於て三百五十萬圓なりと雖も是に鑛山收入を合する時は約五百萬圓となり尙ほ埠頭局をも山鐵の營業範圍に入れなば以上の收入を得べきは勿論なり

▲來年度豫算 來年度に於ける山鐵の豫算は營業費興業費を合して約二百六十萬圓なるにより陸軍に於ける鐵道費目とし打切豫算を以て支出せらるべく右豫算に依りて鐵道の改築貨車機關車の增建を計る豫定なるも尙來年度よりは愈々金嶺鎭鐵鑛の採掘を開始することに決定したれば別に約三十萬圓を要求しあり多分認可を得べきが同鑛は大約二億噸の鑛量を有するを以て採掘の曉には我が製鐵業に對し大に貢獻する處あるべく我が製鐵界の現狀を見るに約三十萬噸の製産力に對し消費高は百萬噸以上に達しつゝあるより大半は輸入に待つより外無き狀態なれば金嶺鎭鐵鑛經營の如きは正に主要なる事業たるべしと

恩赦申達件數 全部二百件内外

鮮内各地の法院並に監獄より總督府司法部に申達し來れる恩赦申達件數は二十三日迄に總計百十二件、人員百二十九名なるが其内上奏御裁可を仰ぐ手續中に屬するものは未だ四十二件人員四十五名に過ぎず而して今日迄の申立數より全部を推すに朝鮮内にては約二百件を超えざる可しと

客月京城商況

新穀出廻の時期なるに加へて米價の昂騰を促し時節柄米穀の輸移出を旺盛ならしめたり、且つ大豆煙草及び牛皮の如きも結氷期の切迫せると共に北鮮方面よりの出廻を加へ又一般當路商人が思惑買を爲し一時持餘氣味なりし移入綿糸布の荷動きも相當の好況を示し一般市況稍や活氣を呈するに至れり今京城稅關出張所に於て取扱ひたる本月中當地貿易額に就きて之を觀るに前月に比し輸移出に於て四萬五千餘圓の增加を示し輸移入に於て三十三萬四千餘圓の減退を示せり更に之を前年の同期に對比する時は輸移出に於て十四萬二千餘圓、輸移入に於て八萬五千餘圓の何れも增加を示せり

板硝子暴騰す

歐洲戰亂の爲め昨春以來白耳義其他より全く輸入杜絶せる板硝子は我旭硝子株式會社製品に依り僅に需用の一部を充し京城に於ても爾來全然内地製品のみを使用し共進會に於ても亦全部内地製品を使用せる有樣なるが其後旭株式會社の契約數量は意外に昂り目下一箇月三十萬箱の注文に對し僅に三萬箱を供給するに過ぎざる上既に明年七月迄の製品を契約せしかば板硝子は益々騰貴と共に品拂底なりと因に大阪來電に據れば菱印は廿圓を稱へ之を空前の高値とす

仁川の死活問題 當局に陳情

仁川築港工事の進捗に伴ひ仁川唯一の小船繫留場たる穀物斗量場前灘は早晚埋築さるゝに就き仁川經濟界に於ては目下調査委員を設け仁川港に於ける死活問題として埋築に伴ふ善後策に就き攻究しつゝある事は既報したるが土木局側にては築港工事完成と共に好適地を選定し小船繫留場並に斗量場の設備を爲すべき計畫なりと云ふも今日迄之が豫定地を發表されざるより若し他に好適地を得ざるに先も現在の繫留場を埋立さるゝに於ては仁川の由々敷大問題なるより去る二十二日奧田、森、武田、櫻井の四氏土木局出張所に永井所長を訪ひ築港完成後に於ける斗量場の豫定地の内示方並に現在繫留場埋築延期に就き陳情する處ありたり

御用納と始式

總督府並に所屬各官署にては例年の如く二十八日を以て御用納の式を擧げ二十九日より一月三日まで休暇、四日御用始式を行ふことゝなれり

京城商議役員會

京城商業會議所役員會は二十三日午後一時より開會、西村、趙鎭泰、林田、釘本、關、韓相龍の各役員出席書記長以下任免の件に就き打合す所ありたり

仁川學校組合會

仁川學校組合にては來る二十五日午後七時より學校組合會を開き委員附託問題たる土地建換の件貸地料低減の件に付き委員長の報告不動產賣却の件を附議すべし

協贊會理事會

京城協贊會にては二十三日午後二時より東拓に於て理事會を開會し協贊會收支決算報告並に解散に就ての打合せを爲したるが追て年内に商議員會を開會すべしと

朝郵船線變更

朝鮮郵船株式會社にては來る一月一日より浦鹽航路及び鎭南浦航路結氷季に入り航海不能となるを以て休航することゝなれりと因に浦鹽航路に充當の平壤丸及び忠淸丸は結氷季間中何れの航路に使用するや尙ほ未定なりと

電車運轉時間改正

京城電氣會社にては來る一月一日より京城市内電車の運轉系統を左の通り改正すべしと

▲現在運轉系統
自東大門 至漢口通六丁目間 每六分發車
自東大門 至新龍山終點間 每六分發車

▲改正運轉系統
自東大門 至新龍山終點間 每六分發車

山形大佐殆んど快癒

後頸部に腫物を發生し一時總督府醫院に入院治療を受け居りし山形高等警察課長は去る二十日退院し自宅療養中の處經過頗る良好にして元氣回復近日中より登廳執務するを得可しと

人事消息

▲寶雁氏（子爵） 廿三日夜歸京
▲渡部登職氏（平壤女高普校長） 二十二日午後八時入京山本旅館へ
▲吉村鐵道局副參事 福岡地方會議の爲め二十二日夜出發
▲山口太兵衞氏（京城銀行重役） 廿二日夜歸京
▲藤原中尉（京城憲兵隊副官） 廿三日揚州へ出張
▲近藤主計（京城憲兵隊附） 廿二日漣川郡へ出張

朝鮮の樹苗圃 經費別より見たる概況

樹苗圃の事業は明治四十年國費經營苗圃三箇所を設置したる以來、歲と共に之を增設し爾後地方費及び恩賜金に於ても各所に苗圃を開設し、大正元年度末には此等官設苗圃の總數三百十箇所、此面積二百十五町步餘に達せしも翌二年度に至り樹苗圃の廢合を行ひて一大整理を爲し同時に從來地方費を以て經營せる極めて小規模の苗圃を公共團體の經營に移したるを以て新に增置の箇所ありしにも拘はらず著しく其數を減じたるも面積に於ては若干の增加を示しつゝあり、尙ほ民間に於ける苗木培養者も漸次增加し單に自家植栽用の爲のみならず販賣用としても養苗を行ふもの多きに至れり、今各經營別に其概況を述ぶれば左の如し

▲國費經營 國費經營苗圃は明治四十年水原、平壤及び大邱の三箇所に同四十二年京城、木浦及び鏡城の三箇所に同四十四年濟州、晉州、全州、海州、義州、咸興、公州及び春川の八箇所に新設し、以て各道に一箇所（京畿道には二箇所）つゝ計十四箇所を置き、其合計面積百二町步に達せしも明治四十五年春季及び大正二年春季の二回に涉り京城苗圃のみを國費に殘存して他の十三箇所は地方費の經營に移し其事業費を補助することゝし、京城苗圃に於ては專ら京城附近荒廢地に對する國費造林用の苗木を養成するに止めたり、其養苗樹種はアカマツ、クロマツ、ニセアカシヤ、ヤマハンノキ、クヌギ、カラマツ等を主とす

▲地方費經營 地方費に屬する苗圃は明治四十三年忠淸南道に於て之を開設し爾來各道共之を設置し漸次其數を增加したるのみならず國費苗圃十三箇所、此面積八十七町步を地方費に移屬したる結果、大正元年度末には其面積百四十六町步餘を增加し本年六月末現在は更に增加して百七十九町步餘となれり、而して地方費苗圃に於ける養苗樹種は國費苗圃と略同じきも就中ニセアカシヤ、クヌギ及び白楊類の如き速成樹を多量に養成しつゝあり、大正四年六月末現在の苗圃箇所數は八十七箇所にして其面積百七十九町五反步を算し同年春播種せる數量三百五十二石二斗、大正元年養苗數二千六百五十三萬本に達せり

▲恩賜金經營 恩賜金を以て經營する苗圃は明治四十四年全羅北道外五道に於て開設し、年度末には四十四箇所に止りしが爾後整理の結果大正四年六月に於ては合計四十二箇所、此面積四十五町步となれり、養成樹種は略地方費苗圃に同じく大正四年六月末現在數は苗圃四十二箇所、此面積四十四町八反步にして本年春の播種數量六十九石七斗、昨年の養苗數三百三十九萬本なり

▲私營苗圃 殖林事業の發展に伴ひ各所に私營苗圃を開設するもの漸く多く其養苗數は明治四十一年にありては僅に三百二十一萬餘本に過ぎざりしも大正二年には三千八百六十九萬餘本に上り、過去六箇年間に於て約十二倍するの盛況を呈せり、尙ほ既往に於ける私營養苗は概ね個人の經營に屬し小規模のもの多かりしも近年は殖林組合、林業契等の組合苗圃及び殖林企業者の造林用苗圃又は販賣を目的とする苗木商の大苗圃等續々設置を見るの機運に向ひ其經營者數は千三百十五人に達せりと

絶好の避寒地
滿鮮避寒客專門特設御旅館
閑靜にして四季の眺望絶佳
待遇は頗る鄭重にして親切
豊後別府海門寺通
温泉旅館 長門屋
一週間宿料一等七圓二等五圓三等三圓半
尙御客樣の御望みにより御便宜取扱申候

國語鮮語對譯 中等科講義錄
右二十四冊全部完結實價六圓 特價五圓 但外送料十四錢
朝鮮諸官廳受驗講義錄
右六冊附錄一冊合七冊全部完結一圓九十錢 送料十四錢合二圓四錢
京城旭町二丁目 朝鮮雜誌社内 朝鮮斯文學會 電話一一二三番 振替京城一一九三

歲末年始贈答品荷揃
◎東京羽子板、教育玩具各種
◎小倉百人一首かるたイロハカルタ
◎婦人髮飾、羽織紐、袋物一式
お子供方や御婦人方へ御進物品はオモチャヤ、コマモノに限ります
オモチャ部 コマモノ
京城本町一丁目 織田東洋館 電話二六九八番 振替京城二五六七番

内科 小兒科 入院隨意
京城日出小學校前 多々見醫院 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

國產 サッポロビール アサヒビール サッポロ黒ビール
歲末年始 御進物用最適品
清涼飲料 シトロン リボン印
半打一打入 化粧箱 並ニ 四ツ手 調進
大日本麥酒株式會社

大正四年十二月二十四日　（金曜日）　京城日報　（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可）　第二千九百八十二號　（三）

明日よ、クリスマス
西洋のお祭り＝皆悉日本社會化した

慌しくも暮れて行く師走の月に最終の年中行事として催さるゝ降誕祭が從來は基督教界の獨り舞臺の樣に思はれて居たものも近來段々普通の家庭でさへ降誕祭〳〵と云ふ聲を聞くことになり更に年末贈答品と同樣に降誕祭贈物の贈答が信者未信者の家庭關係のみでなく未信者同士の家庭にすら行はれる樣になつて來た勿論十二三年前からも此傾向が無いではなかつたがこゝ數年來一層甚しいと思はれる

▲降誕祭は日本のお祭の樣なもの▽

何故此樣に降誕祭が一般の年中行事になつて來たかと云ふとは極めて簡單な問題であつて丁度日本食にカツレツのお菜を喰つたり日本漬物にソースを掛けたりするのと同一で喧しく云へば東西社會組織の融合とでも云ふ可きものであつて手取り早い所なら要するに日本人の生活狀態が西樣になつて來たのである別に宗教的の意味も無く唯降誕祭が比較的に中流以上の家庭で行はれて居て其又信者の家庭と未信者の家庭とが交際して居ると云ふ樣な關係から勢ひ御歲暮とする所を降誕祭御祝と書く樣になつて來たのである西洋でも信者未信者の別なく降誕祭と云へば皆一樣に祝つたり祝はれたりして丁度內地の御祭風のものでそれが交通機關の發達と共に外國人との往來も一層劇しくなつたりして今日の如く社會全般の年中行事とまでなつて來た

▲商人の附景氣と日曜學校の生徒▽

又た一方から云ふと基督教の所謂傳道上から來る感化と云ふものより以外に一種の或る基督教的の感化が家庭から家庭に波及して行つた點もあらうかとも思ふそして此傾向を一番先に悟つたのは遉に利に敏い商人であつたさなきだに景氣立たせたいことのみに腐心して居る十二月の商況を降誕祭と云ふ新らしい社會行事に結び付けて東京や大阪京都神戶邊の商人等が降誕祭飾物で歲末の店頭を賑す樣にした從つて降誕祭菓子降誕祭カード或は子供の玩具類等が盛んに賣行くことになつて來たのも亦原因の一つである今一つ忘れてならないものは基督教會の在る所必ず其教會の信徒數以上の日曜學校生徒があつて降誕祭の夜にはサンタクロースのお爺さんが來て玩具を呉れると云ふことが元來お伽的の氣分に滿ちて居る子供等に取つては非常に喜ばしがられて居ると云ふ事である

▲女學校の生徒までがクリスマス▽

そして是等の子供から未信者の家庭にも降誕祭と云ふ何んとなく床しい感じのする言葉が傳へられる樣になり言葉が藝じて段々には贈物の遣り取りをすることになつて來る斯て是等の子供達が成長して主人となり主婦となつた時に其の家庭は降誕祭が毎年の年中行事に加へねば何んだか物忘れした樣な氣分になつて來るものと見える現に近來內地の都會地の女學校などではミツションスクール以外の學校でも盛んに降誕祭贈物が行はるゝと聞いて居る先づ此樣な雜多なことが原因をなして社會一般の年中行事になつて來たと見れば大差はないと思ふ

▲大人も子供に爲て遊ぶ所が宜い▽

社會上に及ぼす影響如何と質問されても一寸返答に苦しむのであるが一言にして云ば可もなし不可もなしと云ひたい降誕祭が世間的になつて來たからと云つて傳道上何等の便宜を得ないけれども又之れに由て社會を害するものとは無論思はれないが併し近來教會の降誕祭と云ふものが其本來の意義を沒却して所謂お祭騷ぎ的な餘興が多く順序に加へられる樣になつて來たことは戒む可きものではなからうか兎に角其夜許りは大人も子供になつて長き冬の一夜を樂しく愉快に遊ぶと云ふことは利益はあつても害のないことには相違なく此先とても益々降誕祭が社會的な歲末の行事として行はれることは確だと考へて居る（山本牧師談）

歲末小景—買物に

容色滴らんばかり
米國大統領の新夫人の面影

米國の大統領ウイルソン氏は想思の寶石商ガルト夫人と華燭の典を擧げた、ガルト夫人は亞米利加印度人の正系バウハタン家九代の後裔で芳紀既に三十六歲遉は

■絕世の美人　ポカホンタスの血統を稟けて容色したゝらんばかり、白堊館の新夫人として交際界の明星となるには眞に相應はしい美人である式はガルト家で擧げられる筈だが華美を避けて極く質素に行ひ大統領乘用の快走艇で潮風爽かな

■海の新婚旅行を試みる事になつて居る、夫人は嘗て華盛頓の寶石商ガルト氏に嫁いだが伉儷纔に二年で所夫に先だゝれ爾來八年の間寡婦生活をつゞけて來たのであるが今度大統領夫人たるべく決定したので祖先を同じくする亞米利加印度人は此の光榮ある新婚の祝物に四十八種の毛皮を選んで捧へた贈物を贈る事となり土人の獵夫をすぐつて加奈陀國境の險岨を跋涉させた上山羊、麋、熊、貂、水獺など

■四十八種の獸物を獵して立派に調製し九十八歲になる老酋長を一族の代表としてガルト夫人に献ずる筈である、かうくある祝物のなかで夫人を衷心から喜ばせる品は恐らく此の同族の心を罩めた贈物であらう

渤海灣の海賊群
風波に乘じて航行船舶を襲ふ

旅順要港部所屬軍艦千代田艦より吳鎭守府所屬軍艦丹後の副長に轉任を命せられたる海軍少佐河北一男氏の談に曰く旅順は昨年に比し氣候暖かく別に何等異る所なし併し例の海賊は今尚絕えず支那政府にても大に手古摺り居る模樣なり我等も時に彼等を追跡したる事あるも神出鬼沒實に巧妙を極め居れるが彼等は五十人乃至八十人乘組み克船或は石油發動船を操縱し巧に風を利用するは實に不思議なり濃霧或は暴風にて航海を禁ずる位の時に限りて殊更に出動して航海船を襲ふを目的となし居るものゝ如し武器は必ず一人一挺位宛は所持し舊式の火繩銃を混じ居るも中には最新式の小銃を所持するものあり我等は他に重大なる任務を帶び居る爲め海賊を討伐する能はざるより自然成行に放任し居れるが嘗に海賊出動せりとの報に接し軍艦を動かす程の事にも非ずと水雷艇をして捕獲に向はしめしに兵曹長水兵兩名を射擊し死に至らしめたる事あり之に對し支那政府にては慰藉金或は勳章を送り非常に同情を表したるが支那政府にても此際大に鑑みる處ありて警戒を嚴にし居る模樣なり（門司）

支那は戰國時代の如し
袁の密偵は高等追剝の類也

十九日朝入港の關釜連絡船より上陸せる奉天居留民團長醫學博士森川千丈氏は語る

▲支那の現況　は宛然戰國時代のやうなもので秩序も何もあつたものでない袁世凱が各地に盛んに放つてゐる密偵なども實に高等追剝の類で革命黨員の行動を監視する者の下に金持ちの良民を苦しめるから全つ切りお話しにならない少し懷具合が溫かいと見れば之に

▲革命黨員の　名を附け金錢を捲き上げ云ふことを聞かなければ殺して仕舞ふ隨分亂暴な話である段芝貴將軍は相當人望もあるが革命黨員を恐れてから滅多に外に出ず城內に引籠つてゐる段將軍で思ひ出すのは奉天將軍の張錫鑾である張將軍は變に

▲武昌將軍に　任ぜられその後參謀課長以下手兵を隨へ奉天を出發したが赴任途中北京に引返し今に任地に著かず北京で遊んでゐるが之なども全く支那式で何が何やら薩張り分らない段芝貴の方では武昌には自分の信賴する幹部が置いてあるから此際張將軍の赴任は面白くない抑て

▲渦中に石を　投ずるようなものであると反り返つてゐる革命騷ぎも南滿の方で大分火の手をあげてゐるようであるが騷ぎ廻つてゐるうちに年も明けよう支那のことは殆んど常識で判斷されぬことが多い云々（門司）

八坂丸擊沈風說
蘇士運河にて＝獨艦の爲め（大阪特電）

横濱生絲合名會社大阪出張所著來電に依れば日本郵船會社所屬八坂丸（一九、三二〇噸）船長山脇武雄）蘇士運河にて獨國軍艦の爲め擊沈されたりとの風評あるも眞否明ならず

工夫四十名の生埋
陰陽連絡線隧道工事中の奇禍

山口縣吉敷郡二保村陰陽連絡線木戶山隧道二十三日朝十時半陷落作業中の工夫四十名生埋となり山口警察より柏村署長以下數名急行し附近村落の人を集めて堀り出し中（門司特電）

福岡で曲乘飛行
ナイルス氏九州に向ふ

曲乘飛行家ナイルス氏は二十三日門司通過福岡に向へり氏は曰く氣流を云々するは飛行家の恥辱に過ぎずして如何なる氣流と雖も恐るゝに足らず之を飛行するが飛行家の腕なりされば九州の氣流も深く意とするに足らず問題に非ざるべし彼の天覽飛行中止となりたるは政務多端の折柄陛下が態々之れが爲め靑山へ行幸あらせらるゝ譯にゆかぬといふ理由によるものなりと承はる尙ほ宮城よりの天覽に供へんかとの議ありしも斯くては宮城の空を飛行せざるべからずして之を許可せば新に不敬問題を惹起すべしとて內閣より差止められたる次第なり云々（門司）

門松のために山を枯すな
警務部の注意

新年も後一旬にして迫り各戶共注連飾り門松に急ぎつゝあるが京畿道警務部にては此際門松の使用につき禁止する意味にはあらねども郡部地方の鮮人は門松用に松を賣る爲め猥りに小松を採伐して市中に持ち來るものある由なるを以て一般各分隊分遣所等に小松濫伐の取締方を通告する所あり尙門松には此際一般根拔の小松を使用せざる樣注意を促すと共に枝の一部を代用する樣注意を與ふる限定なりといふ

不思議なる特殊部落の內幕
明巢覗ひの巢窟

京城市中を徘徊して明巢覗ひ掻つ拂ひ等をなす朝鮮人の古物行商人と稱するもの約七十名を本町署にて檢擧したるは既報の通りなるが是等鮮人の古物商なるものは其歷史頗る悲因する所あり主として市外阿峴里に居住し居れるが該部落は舊韓國政府時代には當時の警察官憲の手先とも稱すべき者にて彼等古物行商人が萬一贓品の一點にても存在し居るを發見せる際は前記の古物行商人等は之を官憲に密告し官憲は直ちに該商家に出張して同家の所有物一切を沒收したるものなり右の如き災厄に遭ふの破目に陷りたり慣例なりしより各商店に於ては是等古物行商人を畏怖すること啻ならざる有樣にて該部落には其附力的遣りありて猥りに古物商を營むもの多く隨つて不正行爲をなすものも今に殘有し居るものなりといふ

三名燒死
大阪北區の火事

廿三日午前大阪北區此花町清水満吉方より出火し十三歲及び七歲の男女十六歲の雇人燒死し他に重輕傷三名を出し六戶を燒失せり（大阪特電）

巡查部長と挌鬪した賊

既報の如く仁川署の村田巡查部長が去る十四日大格鬪の末逮捕したる强賊仁川府外里六十三番地金壽敬（三三）は取調べの結果豫て放火罪に依り京城地方法院に於て懲役五年に處せられ本年六月仁川分監より出獄したる曲者にして去る十三日十四日の兩日土木局仁川出張所構內に忍び入り大工森田興市外六名の大工道具及び土木局土工用具百四十九點價格四十餘圓相當のものを窃取し自宅に持ち運ぶ途中前記村田巡查部長に逮捕されたる旨自白に及びたれば二十三日檢事分局に送らる

●山田村當時住所不定の豆腐賣子岡村滿（三）は十八日夜九時頃京城櫻井町……

●石鹼一個を窃む　京城御成町安昌……

老爺燒死す

開城郡靑郊面古南里無職金氏（六八）方より二十一日午前二時四十分頃發火したるが同家は山麓の一軒家にて前日金氏は裏山より若干の松葉を拾ひ來りて堆積しありたるものに温突焚口の不始末より枯松葉に燃え移り大事に至りたるも隣家遠きことゝて消火に來るものもなく殊に獨身者の上に老衰の身とて逃げ口を失ひたるものゝ如く無慘にも同女は燒死しゐたるを同午前三時頃發見したりと

十二月の初雪

仁川觀測所に其後報じ來れる各地の初雪起日を聞くに横城十二月十日羅州十二月十四日金泉同上海南、馬山、居昌、大邱、宜寧、山淸は何れも十二月七日なりし

武德會の寒稽古

黃金町武德會にては一月八日より二月五日迄斯道獎勵の爲め左記の如く寒稽古を催す由

▲柔道部　自午前七時半至八時半▲劍道部　自午後四時半至五時半▲會場　憲兵隊司令部道場▲會費　憲兵警察官無料其他一圓▲申込所　總督府內同部文典（電話總督府內二十三番）

仁川調理會設立

仁川有志間に仁川調理研究會なるものを組織すべく過般來斡旋中なりしが愈々多數有志の贊同を得て本會の設立を見たるを以て二十三日午後一時より仁川の有志を奴亭に招待し初會の式典を擧げたり

登錄商標

本椿香油

本舖　大阪　三宅堂

各宮妃殿下及宮內省御內儀御用之光榮を拜せり
●九條公爵家始其他華族貴顯方御常用の榮を蒙れり
各博覽會にて金銀牌受領
●注意　二婦人共頭上補なきは僞物
定價　廿錢、卅錢、六十錢、一圓

髮を黑く長くつやを出さらくとして髮のぬけを防ぎ雲あかつかざる事妙なり

限定承認申出ノ公告及請求

曲者儀被相續人酒見薰ノ相續人トシテ大正四年十二月二十一日京城地方法院ニ其ノ限定承認ノ申述ヲ爲シタリ依テ右被相續人ノ相續債權者及受遺者ハ來ル大正五年三月十日迄ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スヘク若シ右期間內ニ申出ナキトキハ其ノ債權ハ辨濟ヨリ除斥セラルヘシ右民法第千三十九條及第七十九條第二項ニ依リ公告候也

大正四年十二月二十三日

住所朝鮮京城府竹添町二丁目六十七番地

酒見薰限定相續者酒見恒太郎

右承認者未丁年ニ付親權者

酒見マツ

横井式　瞬間鍛錬法

座禪や靜座法の如く長日月の辛苦修を要せず實行極めて簡易なり

瞬間に奏効　閉目秒時にして自己心身を絕對に支配する潛在精神を發動し心身相關を實現す

かぜ引かぬ　心身の抵抗力强大となり感冒等に罹ることなく身體强健精力絕倫

例へば疲勞　心身の疲勞の際眼を閉じ一瞬にして眼を開けば心氣爽快に快活なるかもく熟睡したるが如し

疼痛ある時　同じく眼を閉じ一瞬にして眼を開けば痛は悉く去りて影を留めず

怒る時悲しき時煩悶せる時禁酒禁煙船暈等には即座に奏効す

神經衰弱　不眠ヒステリー消化器病等に卓効あり又不治の喘息病等にても發作の苦痛を豫防す

多忙の人も此法には何等の便利ありて電車中にても實行し得べし

定價金一圓　本月中無料指導券附き特價五十五錢

東京築地　專修館　振替東京三〇四九九

古木盆栽梅　福壽草　雪割草　大輪咲寒椿

歲末年首適當品

古木梅、椿の如きは已に七八年來培栽せしものにて他に類例なき物に有之候其他福壽草雪割草も尤も優秀のものを選擇し至廉價に販賣致候間一度御來觀の上御購求被下度願上候

京城大和町一丁目　警務總監部四ツ角　骨董業　大館龜吉　電話一三五五番

新酒賣出し

一升　一金拾八錢
古酒　一金參拾錢
但樽代一斗入六十錢○二斗入及四斗五升入は一圓申受候
各驛迄の運賃當店にて負擔可仕候

大邱北旭町　齋藤酒店　電話三四九番　振替八二六番

歲暮大賣出し

十二月三十一日まで　景品追加

京城本町　山口吳服店

追加品目　主なるもの
縮緬紋附　御召　高貴　名物　瓦斯　珍品　商女　他空籤なし

千生瓢 (79)

須藤南翠作
筒井年峰畫

電馳(五)

多年長濱を領して、勉めて民に仁政を施した筑前守の治績は、今この火急の時に方つて、著々として表はれて來た。筑前殿御歸陣』といふ聲は其から其と傳つて、長濱に達する頃には、山ともいはず、野とも言はず、提灯炬火を手に／＼擎げて、出迎ふる者、道傍の小草より多かつた、殊に長濱、及び其近隣の村々から、幾千となき炬火をふり照して、途中に出迎はれた時は、流石の秀吉も滿面を笑みに埋めて、白晝の如き大道に鞭を揚げ、快然として疾驅した。斯うした路次の便宜を得た爲に、思ひの外に行旅の障礙もなく、大垣を發してより二時有餘にして、馬を木本の陣頭に繋いだのであつた。

神子田半左衛門陣の内より躍り出て、秀吉の足下に平れ臥し、

『殿は神おはすよ。お丶殿は神おはすよ』

『半左か。其方こそ天眼通ぢやよ。身が歸ること、疾う陣々に觸れ歩いたげ』

『やあ、誰か申上げて知し召さるゝ、何がさて、鬼と稱ばれた中川殿の討死、高山殿の開棚を聞き棋して』

『何と申す、中川戰死とや』

『はツ。一族殘らず勇ましき討死を遂け申した。其が爲めに陣々の仰天、皆越前勢の猛威を怖れて、浮足に見えておざりまする。如何にもして其動搖を抑へ、御歸陣まで砦々を守らせんため、方便の虛ぞ、今實となつた事の悦ばしさよ。半左更めて祝著申し上げまする』

半左衛門は雀躍して悦び勇み、馬を牽かせて乘らうとした。秀吉は愁然としてさし俯向いた。

『瀨兵衛尉ならば、彼の砦を守らうと存じたが、却つて無二の豪傑の死を速めたよ。不便な事致いた』と潸びやかに淚を拂つた。

半左衛門も鎧の袖に露を注いで、深く秀吉の心を思ひ遣つた。

『よし、よし、淸秀が弔合戰には越前勢を遂ひ落して、勝家が首級を供へくれうぞ。のう、半左』

『仰せおざりまする。半左是れより各陣を飛び廻り、御加勢到著を知らせたう存じまするが——』

『好い心著きぢや。其序、此の木本に住む浪人、美濃部勘左衛門といふ男、此れへ參れと傳へくれう』

『畏まりました。さらば御免』と、半左衛門は欣然として馬に跨がるや一驟くれて驅け出した。

其間にも軍勢は追ひ／＼に驅け著けて、長途の勞れも感せぬげに、皆勇壯な夜行軍の光景を語り合ふ。

『殿、美濃部と申す浪人、罷出でまいておざりまする』

近習が執次とゝもに、勘左衛門は其處に平伏した。

『やあ、勘左、いつも健固で重疊の……つさ進みやれ』

秀吉は猶々しげに語つた。勘左衛門は甚いて其顏を目戍つてゐる。

『勘左、其許は秀吉に仕へよと勸めても、主取は嫌ひぢやと申したが、今改めて加勢の賴みたい。何ぢや勘左』

強者と者られた勘左衛門も、斯う言はれては、勢ひ我を折らねばならぬ。早速に頭を低げて、

『應分の御加勢、勘左承知仕る。但し浪人の分際、案山子役の外には、心底に委せ申しませぬ』

『お、其案山子を賴まうためぢや、其許今より近郷近在の農民を語らひ、谷々に取登つて、隙間なく炬火を點し列ねて貰ひたい』

『いと易き程の御事おざります。田上山を炬火に取り切り、鯨波を揚げさせ申さう程に、緩々と追討のお手配に任せられい』

『早速領承過分に存ずる』

『さらば御暇申しまする』

勘左衛門は陣所を退出すると、直ちに地下人を呼び集めた。土地の者は、勘左衛門が年久しく住み馴れて、何れより召さるゝとも主取もせず、村[illegible]の業を農民の子弟に教へて、生涯の職とするのに、深く敬意を拂つてゐるので、時の間に皆命せられた場所に集つた。

勘左衛門は田上山の高峰々々に取り登つて、炬火を照し、鯨波の聲を揚げる事を命じた。農民等はそれを秀吉の命と聞くや、皆悦んで其用を勤むべく、續々として尾上々々に登るので、樹の間を洩るゝ炬火の光りは、點々として相列なり、幾萬の採兵の長驅して達したかと想はしめた。而して一聲高く揚ぐる鯨波の聲は、峰に響き、谷に渡つて、敵味方の陣所に反響するのであつた。

最高賞金牌
御大典記念全國食料品共進會に於て壹等金賞牌を受領せり
三人蔘味噌
寒さに感せず體量を增す血色を好くし記憶を增し元氣盛になります
京城 遠藤廣吉商店 (電話九八二番)

▲少女の友の新年號 には『七諸綸縛たの苦心』と題して記者がその編輯の苦心を告し居れるだけあつて卷頭には『娘に與ふる母の手紙』を掲げて月々の衛生上の注意を少女に與へ『賢母物語』に子を育てる母の苦心を語るなど面白い中にも教育的であり暇な中にも引締まり又長田幹彥氏の長編小說『探偵のいのち』森下雨村氏の科學小說『怪界の秘密』等面白き記事あり特別大附錄の『龍宮土産和樂雙六』は少女が龍宮からの招待狀を釣り上げて姫様にお土産を頂いて歸るといふ頗る珍趣向の雙六なり

▲幼年の友の新年號 東京實業之日本社發行『幼年の友』の新年號は多くの幼年雜誌中の異彩を放てり新年大附錄『新案お伽玩具』はタテ一尺八寸ヨコ二尺八寸にある幼年の最も面白き飛行機と船エレベーター、エスカレーター、ケーブルカーなどにのつていろ／＼不思議なる世界を見て歩くといふ頗る面白きものなり、本號の第一に目を驚かすは[illegible]にして本誌は特に考案は新鮮なる趣味と相俟つて他の模倣を許さゞる所なるべし、讀物として本號より連載さるべき氷の御殿は湧き立ち興味のうちに教訓を含める長編のお伽噺也

京日案内

◎普通 一回前金三十錢(無割引) 假名一回増し金五錢増し

◎頗る有利 事業悉皆讓渡し度し委細至急面談 (姓名在社) 196

◎古本なら野村 買入誠實御報參上 京城本町一丁目(明治町筋) 電話二六三六番 野村書店 112

◎金庫 △タイプライター コッピープレス 格安にて讓りたし 姓名在社 187

◎酒一升に付米一升御添へ致し升 是非一度御來店下さい歳末迄延期 京城黃金遊園前 坂本酒店 184

◎好職有り 至急男女募集す 活動家は來れ 南山町一丁目大和屋方△牧田 185

◎番外 一回前金六十錢(無割引) 假名一回増し金五錢増し

◎乳母至急入用 希望者は京城長谷川町安東病院又は黃金町三丁目山中留次郎商店迄至急御來談ありたし 194

小豆 餅用あん 種々製造賣出 年内中は御用達一圓以上は速達 若草町一 電話九五一 京城製餡所 190

内科 小兒科 胃腸 呼吸器 肺病 專門 京城本町二丁目元中島病院跡 (入院隨意) 電話二八八◎番 山田醫院 81

◎寫眞 年賀用 意匠高尚肖像入十二枚壹圓 地方御注文は御持合せ寫眞一葉前金添へ被送度し但卅日迄 南大門通三 電話一〇四〇 京城寫眞館 180

忠州行 貨物取扱開始仕候 荷物迅速運搬 京城鍾路五丁目 ◎振替三三八九 ◎電話二三九一番 酒井運送店 179

◎年の餅 例年の通りちんつき出張致します 元祖桃太郎饅頭 親玉 京城北米倉町 米倉軒 支店所在明治町通 米倉軒支店 166

西川新築 堅牢椅子 監獄製造 火鉢 洋家具專業 京城出張所 黃金町二丁目 ◎電話三三五九 松莊所 154

恩給 債券 即時低利立替 手數料極安 京城若草町百六番地 電話二二六三番 勤業貯蓄 御不用分高價買受 西村商會 102

内科 胃腸病科 得業士 京城本町一丁目 石川淳夫 診察夜九時迄 電話三番 專用二七二九番 117

◎求妻 卅五歳の男子にて相當の資産有り卅五歳迄の美醜を問はず血統正しき妻を求む 希望者は至急申込あれ 姓名在社 195

○ミツワ石鹼

擔任技師 工學士 藤野太治郎 工學士 越智圭一郎

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。

皮脂の分泌量多くして而かも粗慥なる本邦人の皮膚、及漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

○ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
二、溫雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし

即ち一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に適し、經濟に合する理想的實用石鹼なり。

(現品實寫圖)

▲賣捌＝全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舖
ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元 東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
○(登錄商標) 丸見屋商店
電信略號○ミヤ 振替口座東京七一〇番
營業部電話特長浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番